

下諏訪町部活動地域展開に係る説明会 資料

説明シナリオ骨子



- 国と県の指針
- 県の目指す姿
- 地域展開で想定される課題
- 地域展開の必要性 … 教職員の働き方(データでの説明)
- 地域展開の必要性 … 教職員の意向(30%は部活を支援したい)
- 地域展開の必要性 … 生徒/保護者の意向
- 生徒・保護者の意向と課題解決に向けた“下諏訪モデル”構築
- 下諏訪町の目指す姿
- 課題解決に向けた、それぞれの取り組み
⇒ 以降は提案内容の再組み立て

下諏訪町教育委員会

部活動の地域展開について（国・県の指針）



- スポーツ庁が、将来にわたり子供たちがスポーツに継続して楽しむ機会の確保を目指して、休日部活動から段階的に地域展開していくことを提言（令和4年6月）
- 長野県では、全ての学校部活動を地域クラブ展開を前提に、令和8年度末までに休日部活動の地域クラブ展開を目指して推進するように、市町村に求めている

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要

※公立中学校等（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部）における運動部活動を対象

運動部活動の意義と課題

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。
- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る
- 中教審や国会等：部活動を学校単位から地域単位の取組とする旨提言
- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、自発的な参加を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一層整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）
- まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目標
- 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- 地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
- 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進
- ※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識

これまでの対応

目標

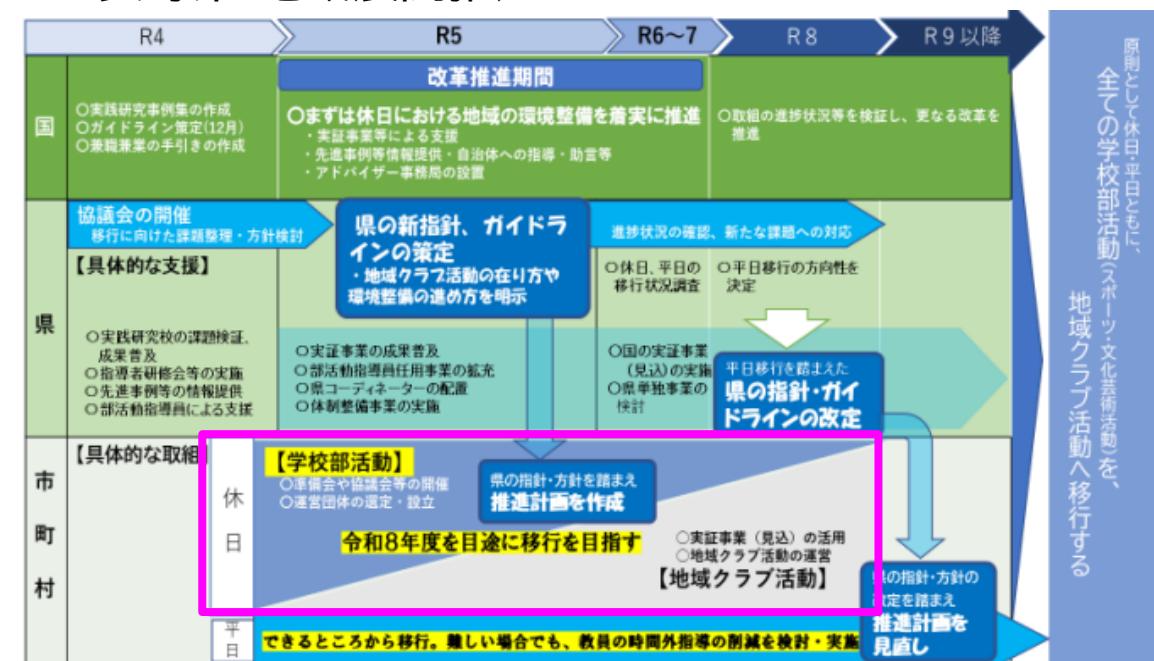
改革の方向性

課題への対応

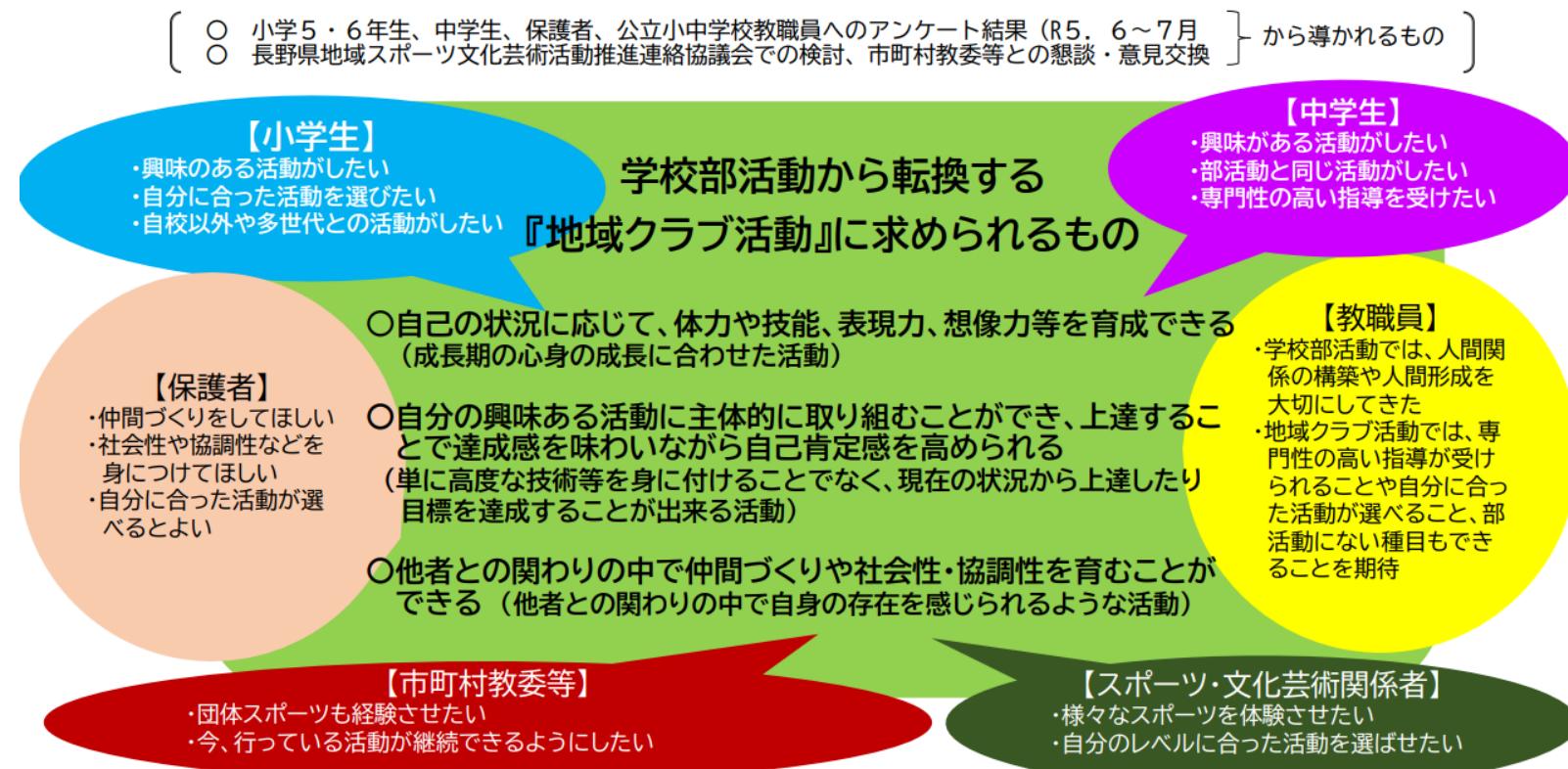
休日の運動部活動の地域移行に向けた改革集中期間
R5 R6 R7 R8
進捗状況を検証し、更に改革
・ガイドラインの改訂
・地方公共団体における推進計画の策定・実施
・公的支援

←スポーツ庁提言

↓長野県 地域展開推進スケジュール



- 生徒、保護者、教職員へのアンケートや市町村教委との意見交換から『地域クラブ活動』の目指す姿を策定
 - 自己の状況に応じて、体力・技能・表現力・想像力を育成できる
 - 興味のある活動に主体的に取り組み、上達を通じて達成感を味わい自己肯定感を高めることができる
 - 他者との関わりの中で仲間づくりや社会性・協調性を育むことができる

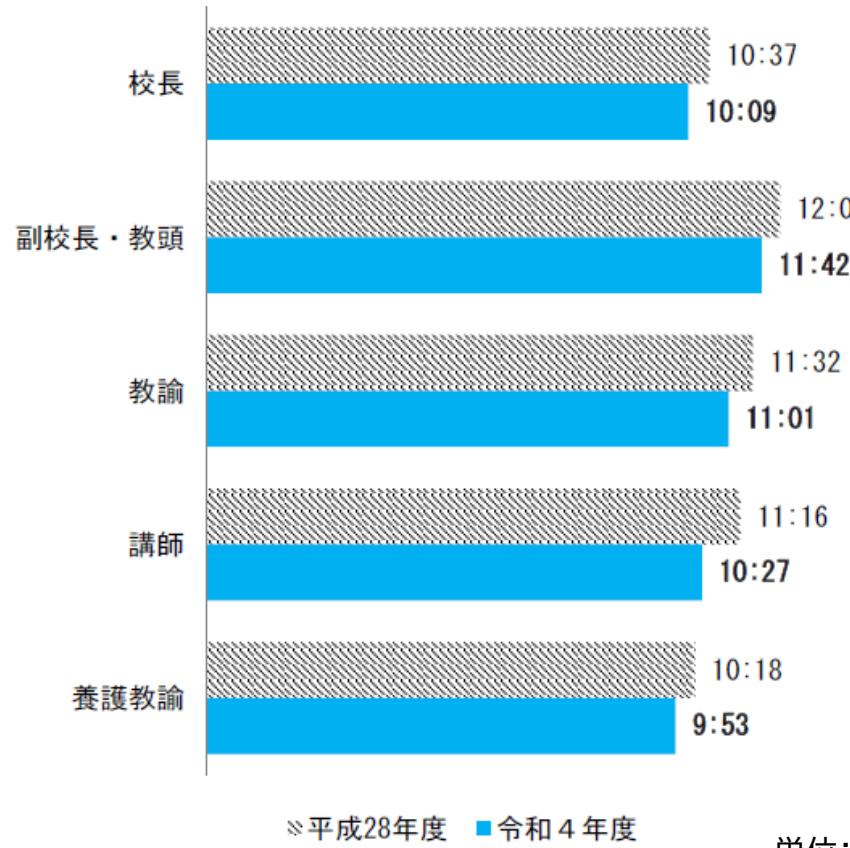


中学校教職員の働き方と部活動参加意向分析

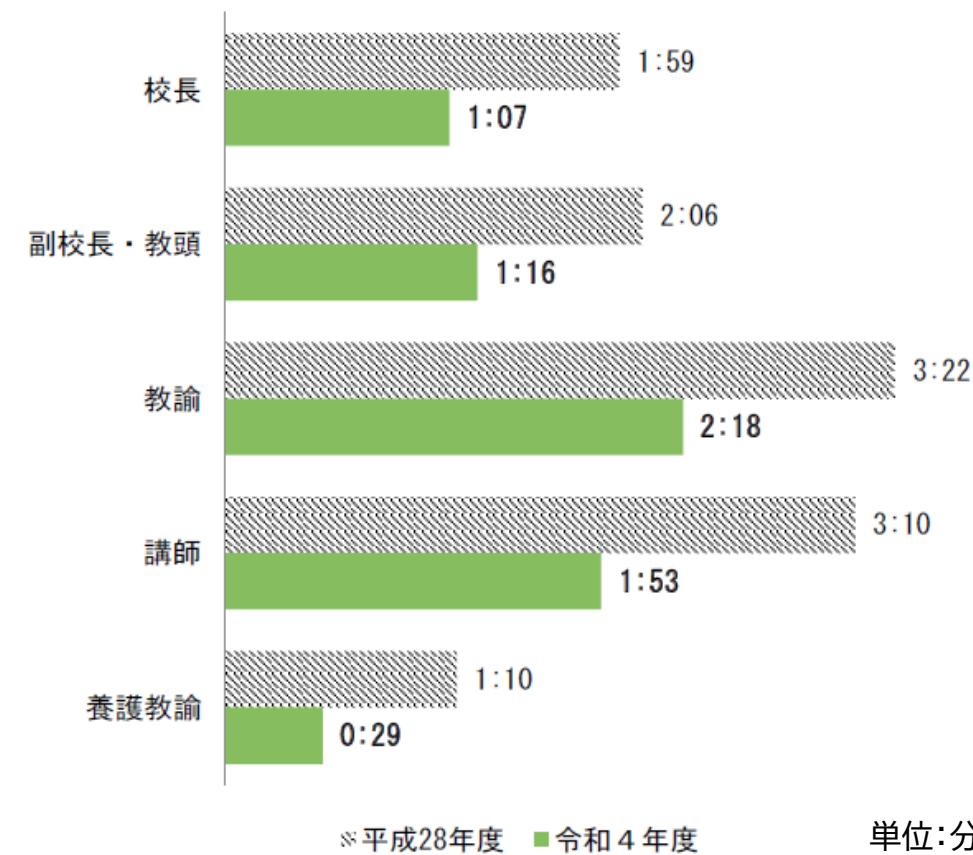
分析① | 1日当たりの在校時間

- 1日当たりの在校時間は、平日・休日ともに平成28年度から令和4年度にかけて微減の状況
- 依然一定の残業時間が多い傾向にあることに変わりはない

【平日】



【休日】

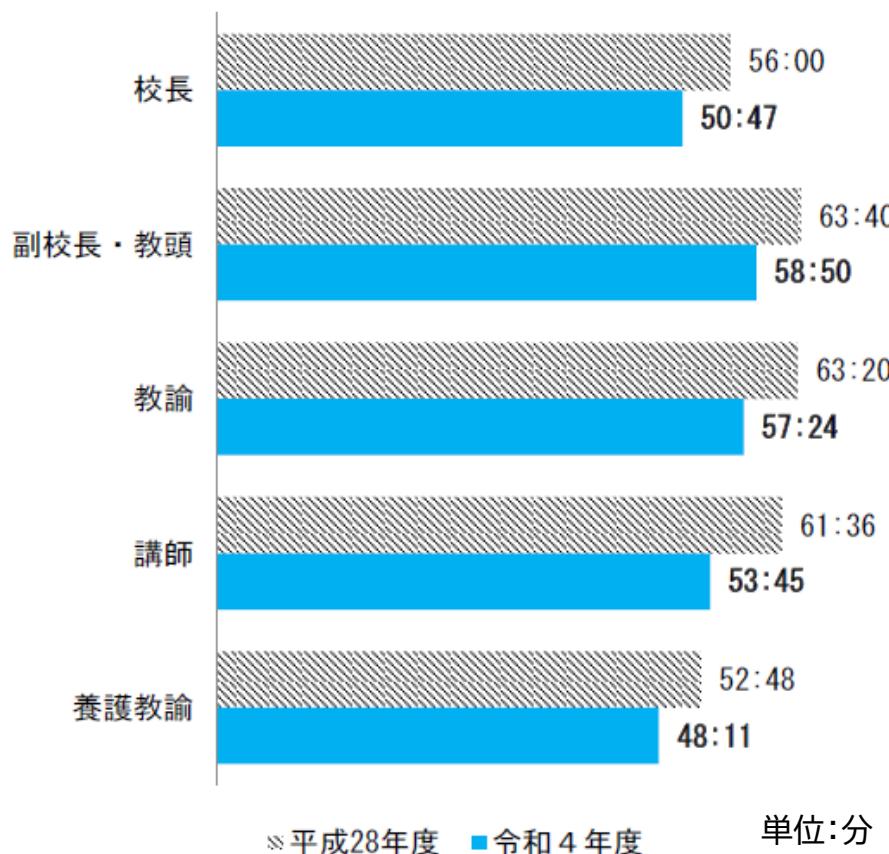


※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

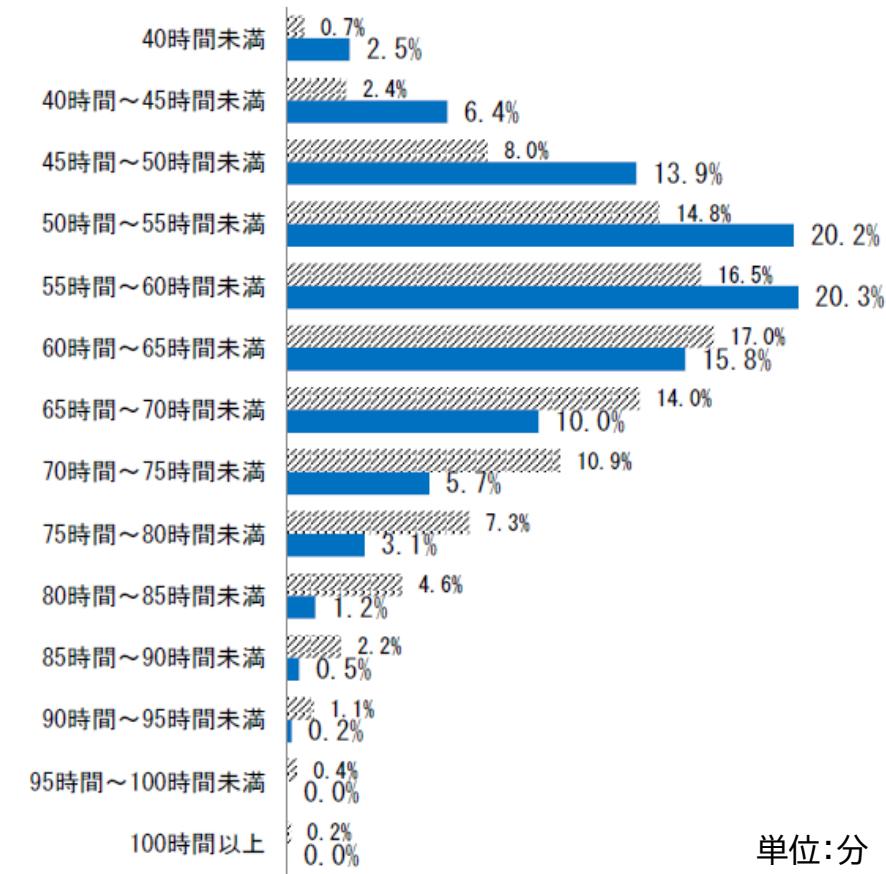
分析② | 1週間あたりの在校時間

- 1週間当たりの総在校時間は、職種に関係無く50時間～60時間が最も多く半数が60時間超となっている
- 月残業時間45時間を超える教員は70%を越え、80時間(過労死ライン)を超える教員も約30%程度で推移

役職別1週間在校時間



1週間在校時間の分布

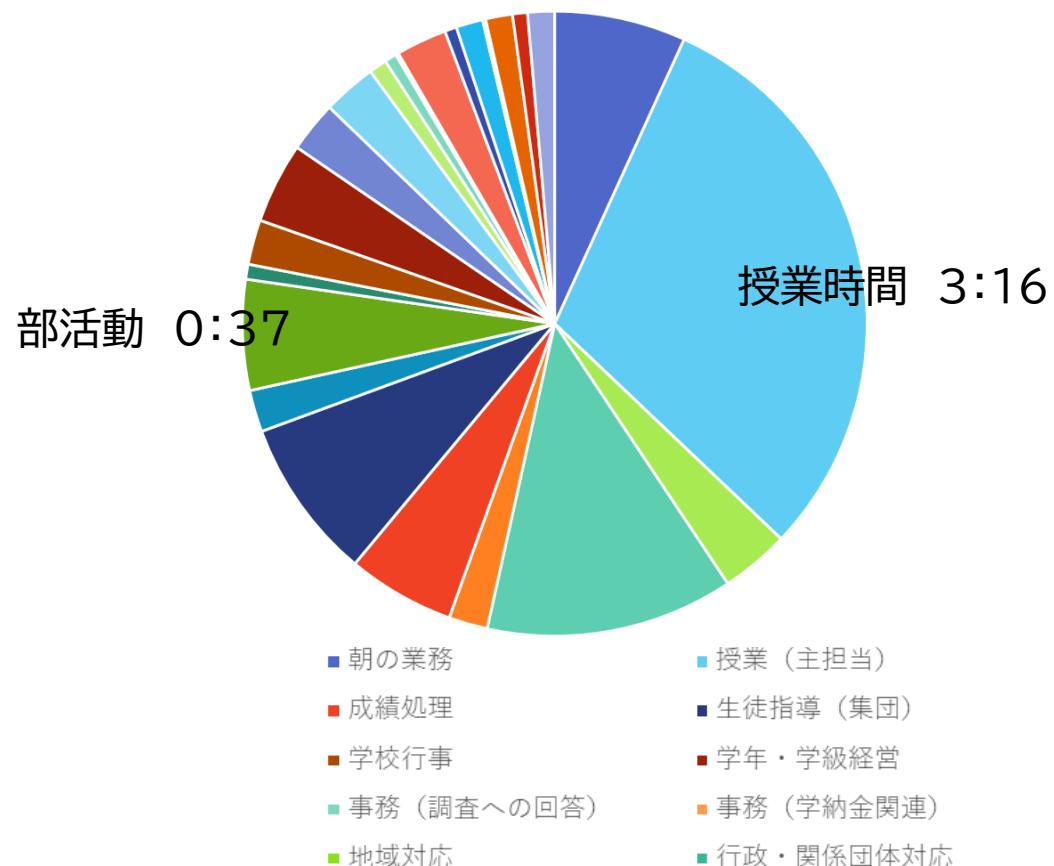


※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

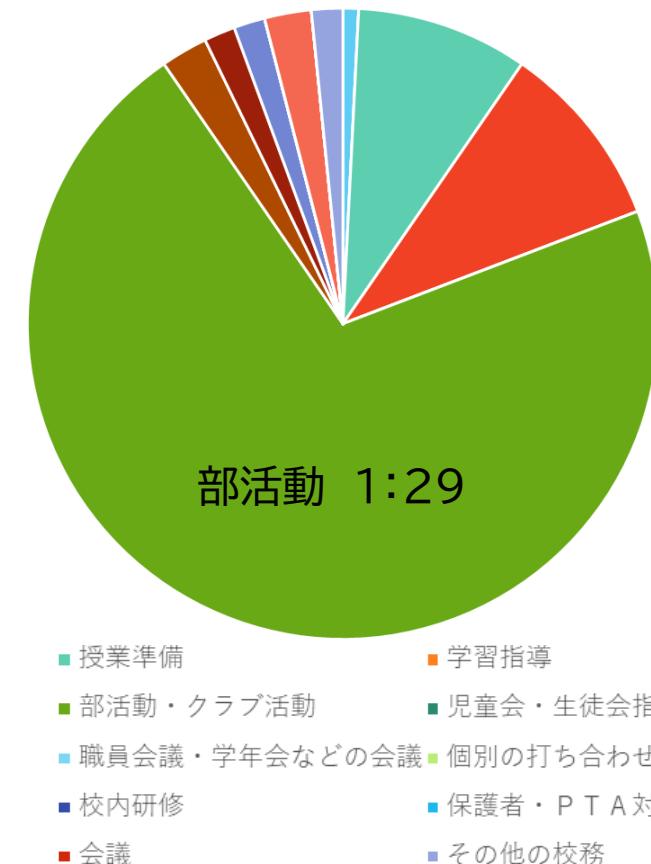
分析③ | 1日当たりの業務時間

- 1日当たりの業務は、授業が3時間16分に対して、部活動が37分など授業の延長活動が多く占めている
- 休日にいたっては、部活動の指導が大半を占めている状況

【平日】



【休日】



単位:分

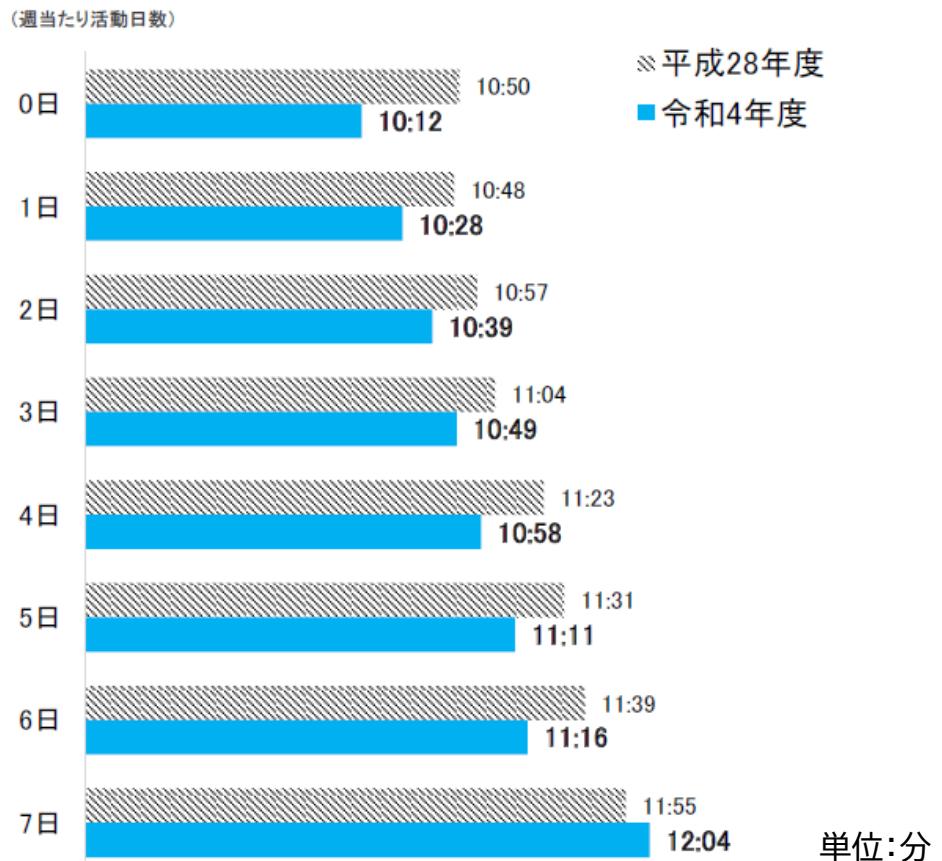
※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

分析④ | 在校時間と部活動日数との関係

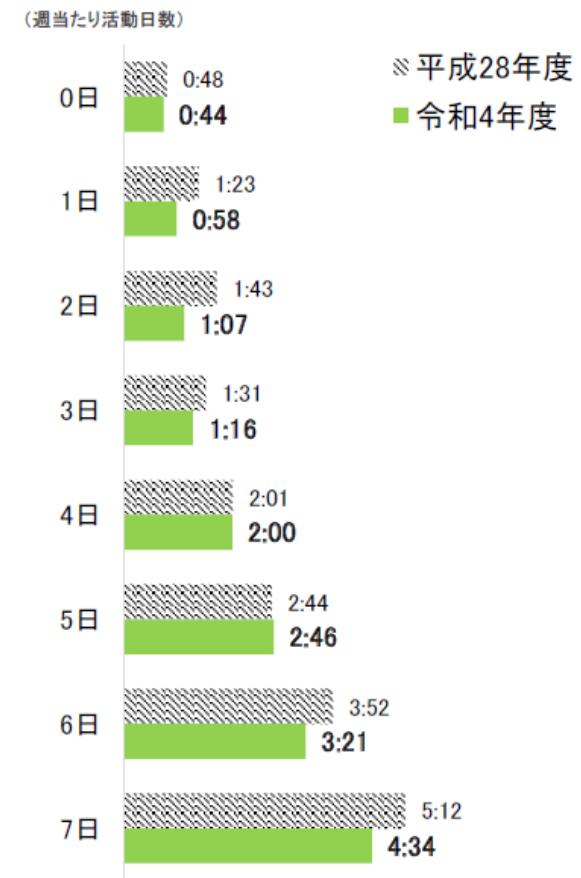


- 部活動の活動日数と在校時間を分析すると、活動日数が多い教員は比例して在校時間が長くなる傾向にある
- 平成28年度から令和4年度に掛けて低下傾向にあるものの、依然部活動による在校時間が長くなっている

【平日】



【休日】

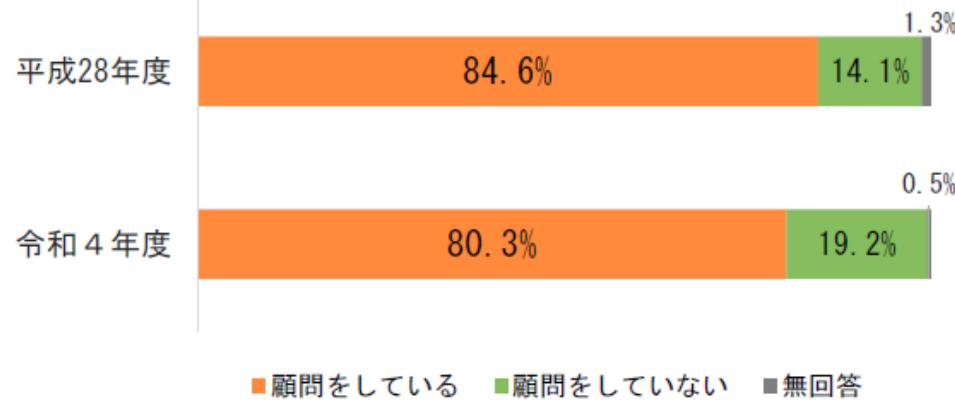


※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

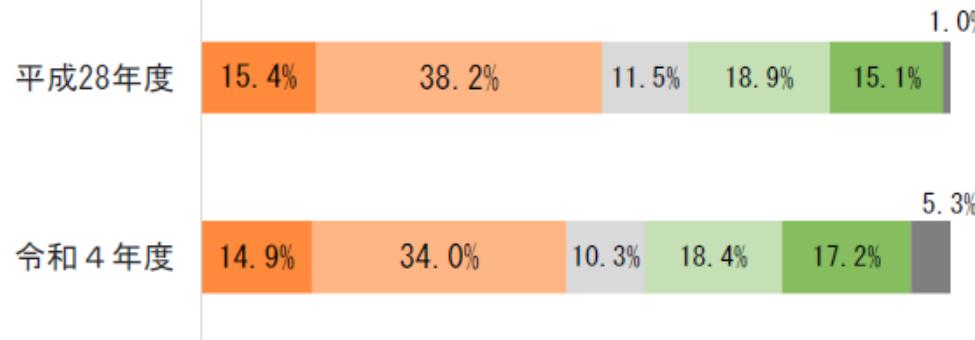
分析⑤ | 部活動の参加状況

- 約80%の教員が、顧問として学校部活動を担当しているが、その約半数は技能が不足していると感じている
- 平成28年度から令和4年に掛けて、生徒の人口減少もある部活動の活動に日数は低下傾向にある

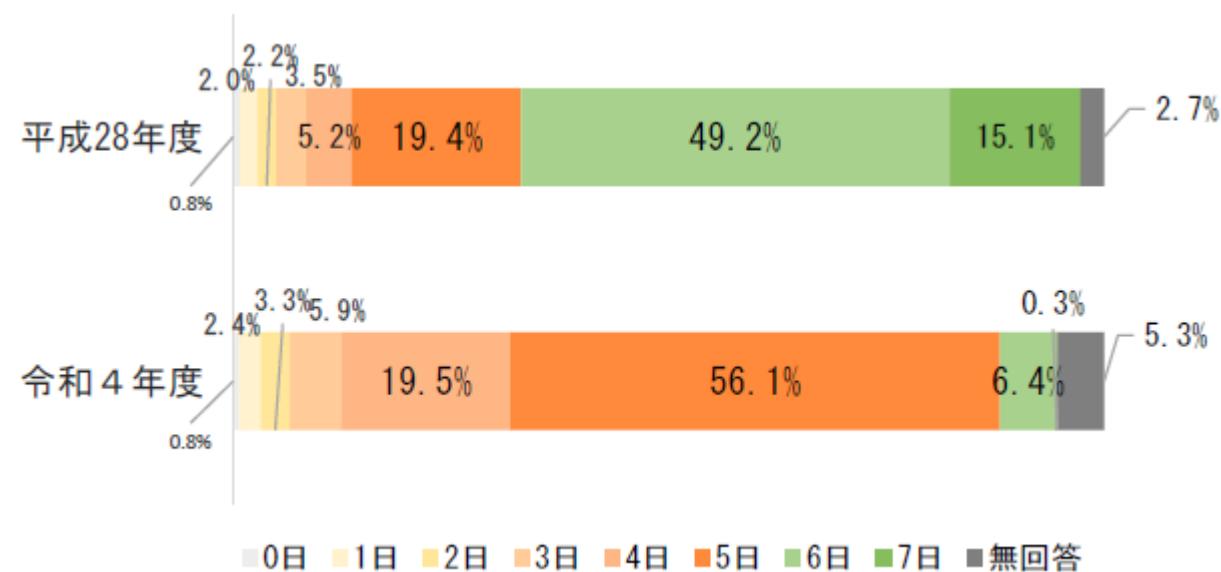
【部活動の顧問担当状況】



【指導可能な技能の備え】



【部活動の平均活動日数】

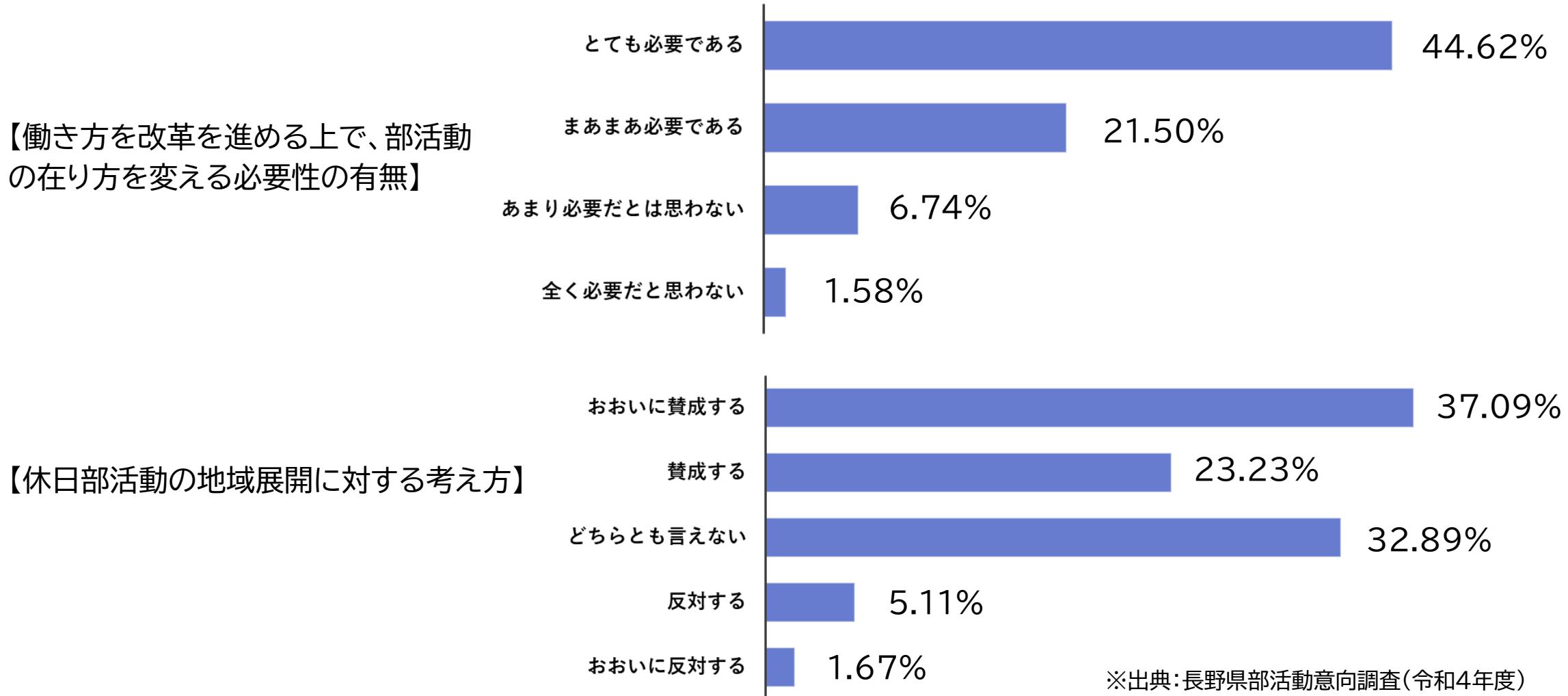


※出典:文部科学省 教員勤務実態調査(令和4年度)

分析⑥ | 教員の部活動展開に対する意向①

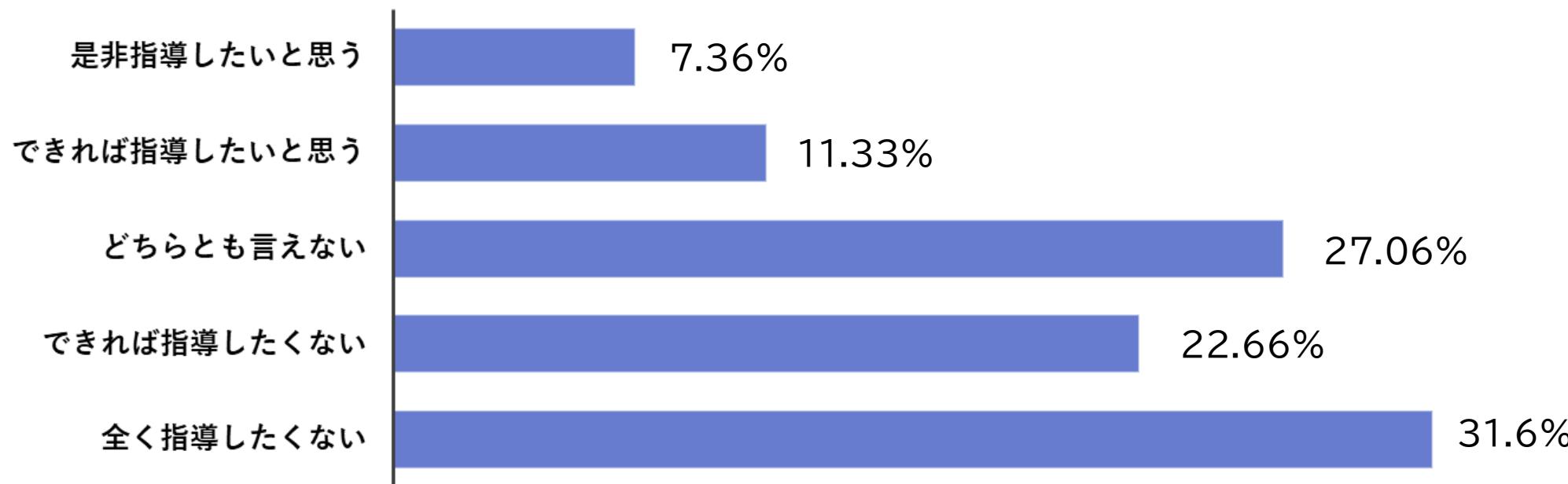


- 働き方を改革する上で、部活動の在り方を変える必要性があると考えている教員は60%を超える
- 部活動の地域展開に対し、賛成教員が約60%いる一方で一定数の反対する教員が存在する



- 兼職兼業による休日部活動の参加意向について、約50%の教員が指導参加を見送る一方で、一定数の教員は引き続き指導の継続を希望している

【兼職兼業による、休日部活動の指導参加意向】

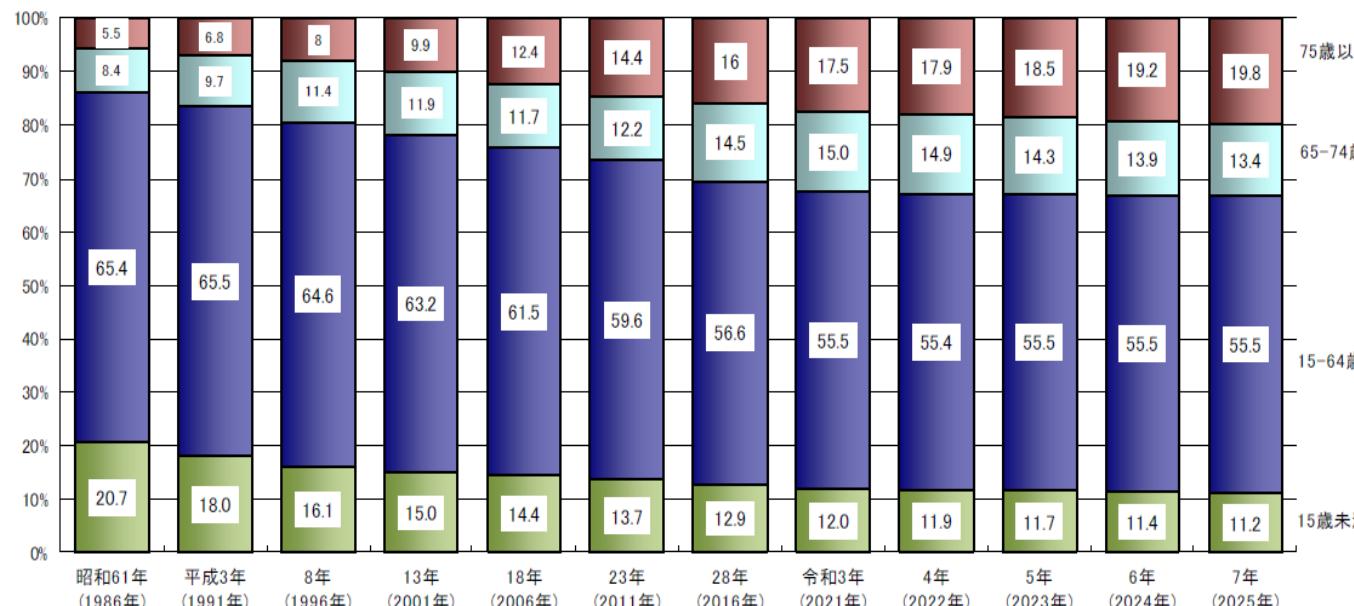


分析⑧ | 長野県の人口推移

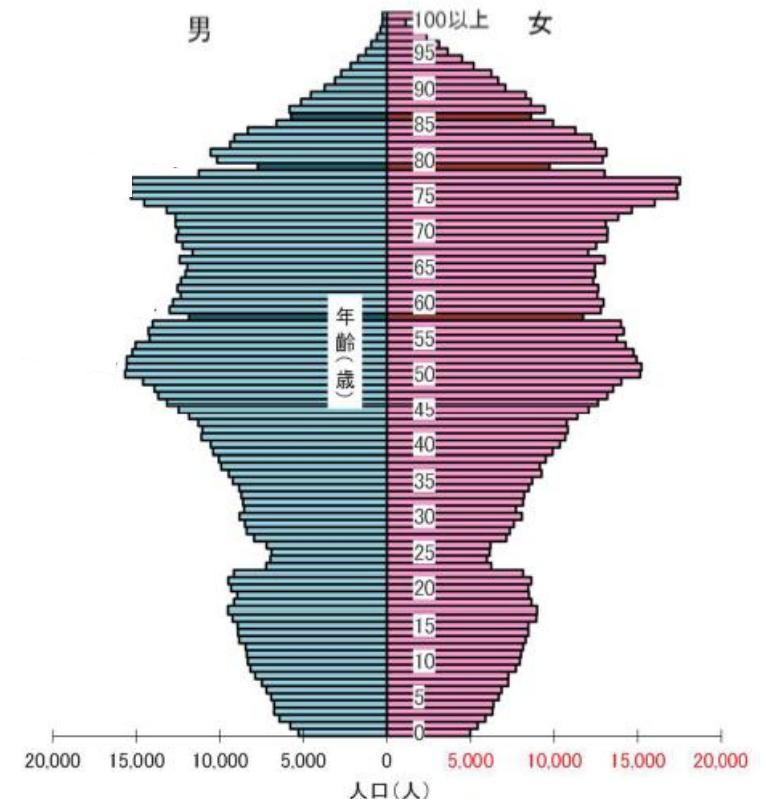


- 長野県の中学生人口推移は、2019年から2024年にかけて毎年約1,000人程度の減少が継続している状況で、2024年時点で約51,000人となっている

【長野県の年齢区分別構成比の推移】



【長野県の人口ピラミッド】



※令和7年(2025年)時点

【下諏訪町の現状】

・学校数	2校
・学級数	19学級
・生徒数	399名 ※令和6年(2024年)時点

分析⑨ | 下諏訪町中学校の状況



【中学校の現状と生徒数推移予測】

- ・学校数 2校
- ・学級数 19学級
- ・生徒数 399名
※令和6年(2024年)時点

年	2002年 (H14)	2007年 (H19)	2012年 (H24)	2017年 (H29)	2022年 (R4)	2027年 (R9)	2032年 (R14)
生徒数	574	558	555	502	492	398	332

【部活動と部員数】 ※令和6年(2024年)時点

- ・12の活動に184名が参加、顧問の先生方28名と外部指導者8名にご指導頂いている

種 目	部員数※ 1、2年生			顧問数		外部指導者	備 考
	下中	社中	合計	下中	社中		
サッカー部	9	4	13	0	2	社中4	社中が拠点校
ポート部	12	0	12	2	0		
男子ソフトテニス部	12	0	12	1.5	0		
女子ソフトテニス部	11	5	16	1.5	2	下中1	
男子バレーボール部	6	0	6	1.5	0		
女子バレーボール部	4	0	4	1.5	0		岡谷東部と合同
野 球 部	10	4	14	2	1		下中が拠点校
男子バスケットボール部	12	8	20	1.5	1	下中1/社中1	
女子バスケットボール部	9	4	13	1.5	1	社中1	R6.9～下中社中合同
陸 上 部	4	0	4	2	0		
吹 奏 楽 部	15	13	28	2	2		
美 術 部	26	16	42	1	1		
計	130	54	184	18	10	下中2/社中6	

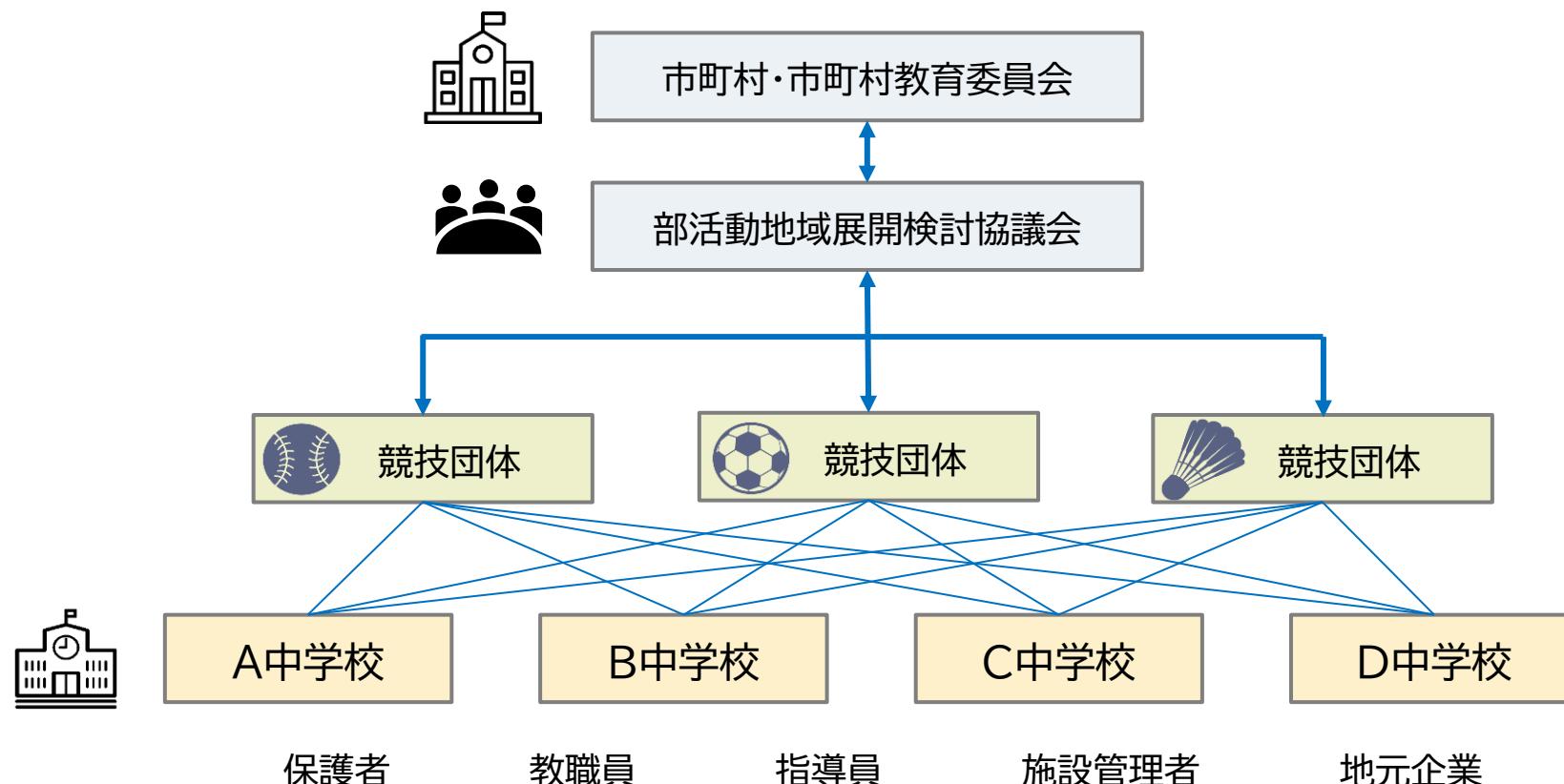
国及び県指針の分析

部活動の地域展開の現状整理（体制づくりや運用のポイント）



- 市町村、市町村教委が主体となって、競技団体、学校、保護者等との連携で協議会を設置し、部活動の地域展開が検討されている
- 協議会は、様々な競技や文科系技能の指導に対応するために、複数の団体との連携が必要求められる
- 指導者の支援、実施施設の管理、地域住民や関連企業などとの連携等、従来ない枠組みが必要となる

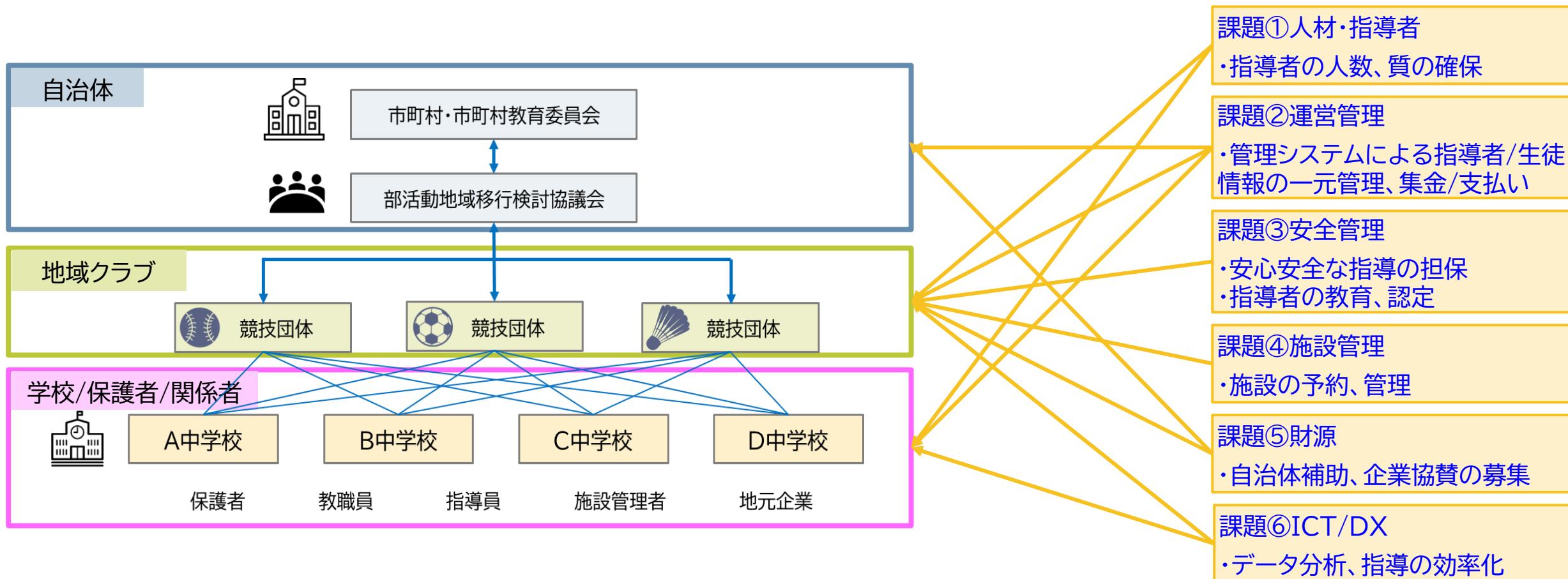
【各市町村における部活動地域展開推進体制イメージ】



- 中学生が運動を実施する環境は、学校部活動/スポーツ少年団・クラブチームなどの地域単位活動に大別される
- 一部の中学校では、学校部活動の延長活動として、社会体育活動を実施しているケースがある
- 部活動の地域展開は、現在中学校単位で実施されている学校部活動が対象となっており、地域で運営されているスポーツ少年団・クラブチームなどは対象とならない（地域団体は、部活動の展開先となる可能性がある）

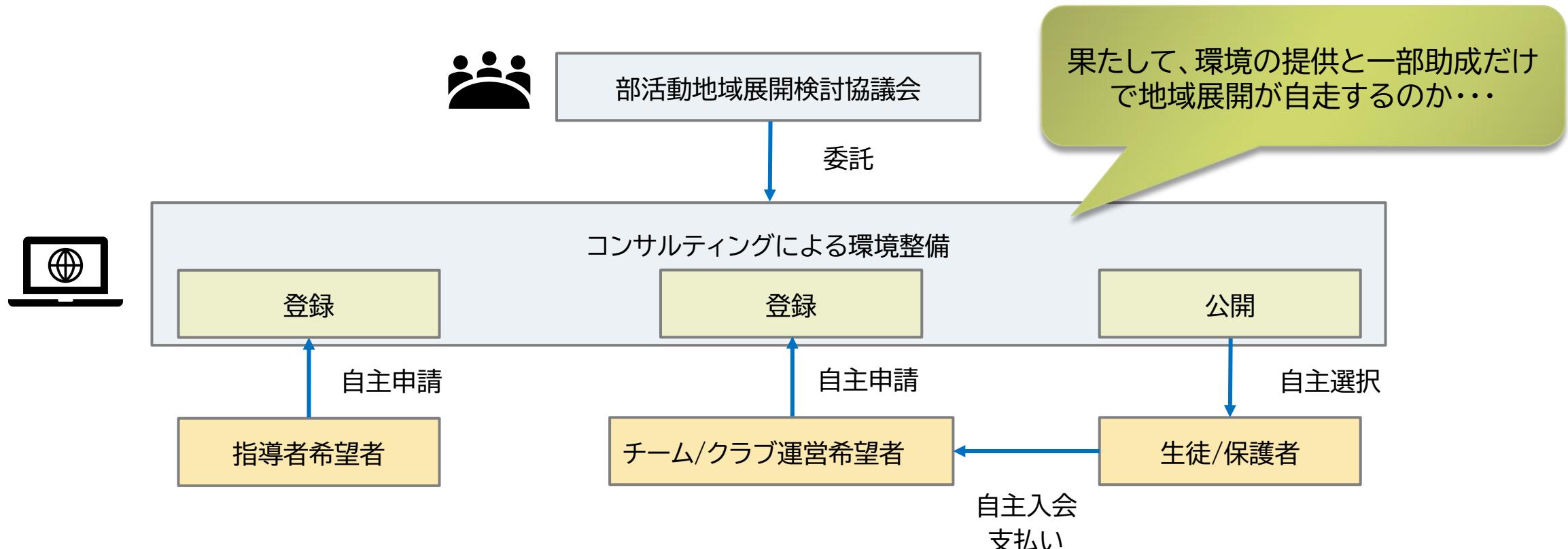
対象範囲	参加条件	活動団体	
制限なし	セレクション	クラブチーム	↑ 展開先となる対象
地域単位	—	スポーツ少年団	
中学校単位 (市内)	—	部活動 社会体育活動 (延長部活動)	↑ 地域展開の対象

- 今後、指導者の確保だけでなく、指導者/生徒の情報管理、安心安全な指導の旦保、施設の予約管理、財源の確保、ICT/DXを活用した指導など、多様な課題への対応が必要になることが想定される
- 課題解決に向けて、自治体・地域クラブ・学校/保護者/関係者間の調整が必要であり個別対応が困難になる



- 国や県が示す指針に沿って、自治体主導でコンサルティング等が参画して検討が開始されている
- IT化による環境が整備され、希望登録等自主性に任せた運用で管理主導の地域展開を推進する傾向にある
- 地域基盤が確立されていない展開黎明期に、理想の形で推進するため活動が具体化されない、もしくは一部に偏った活動になっている

【先行自治体の地域展開推進イメージ】



【指導者や受け皿の確保】

適切な指導者・団体の確保が難しいことが多く、特に人口の少ない地域では、指導者や施設の不足が顕著となる

【児童生徒の安全】

学校外での活動となるため、安全管理が難しくなる可能性があり、体罰や事故のリスクが増えることが懸念される

【保護者の経済的負担】

地域クラブに展開すると、参加費や交通費などの経済的負担が増えることがあり、経済的に困難な家庭の子どもが参加しにくくなる可能性がある

【施設の確保】

地域のスポーツ施設や文化施設の数が不足している場合、活動場所の確保が難しくなる

【教員の負担軽減】

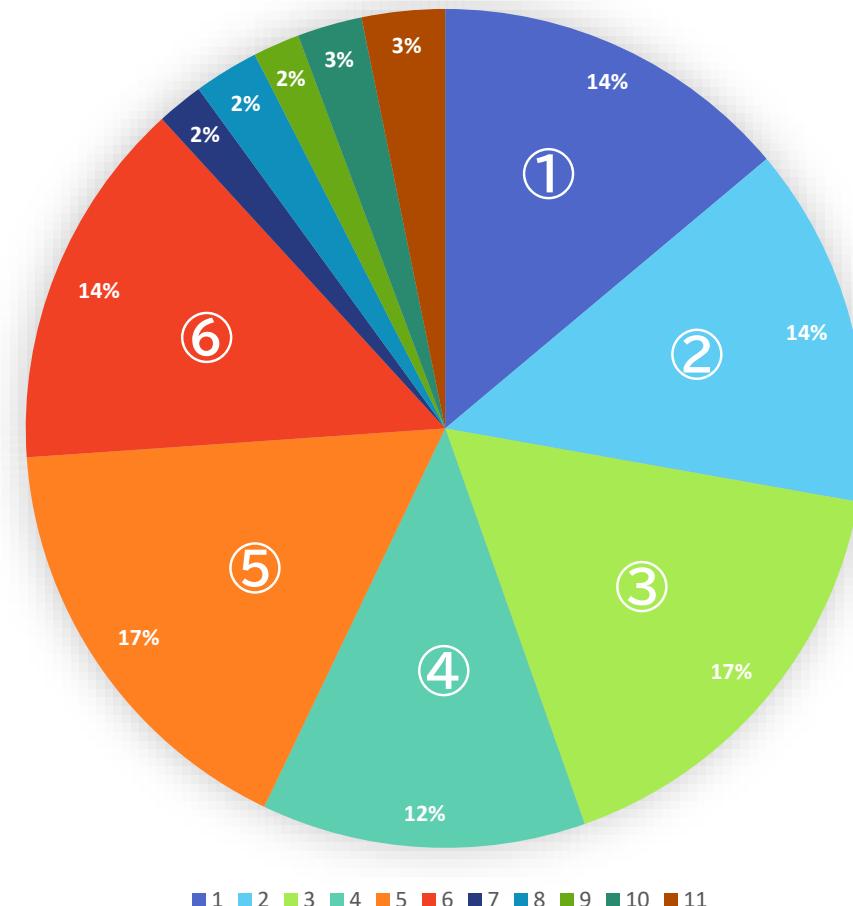
地域展開によって教員の負担が軽減される一方で、教員が部活動に関わり続けたい場合の対応が必要

これらの課題を解決するためには、
地域の実情に応じた柔軟な対応や、自治体の支援が重要となる

生徒及び保護者の意向分析

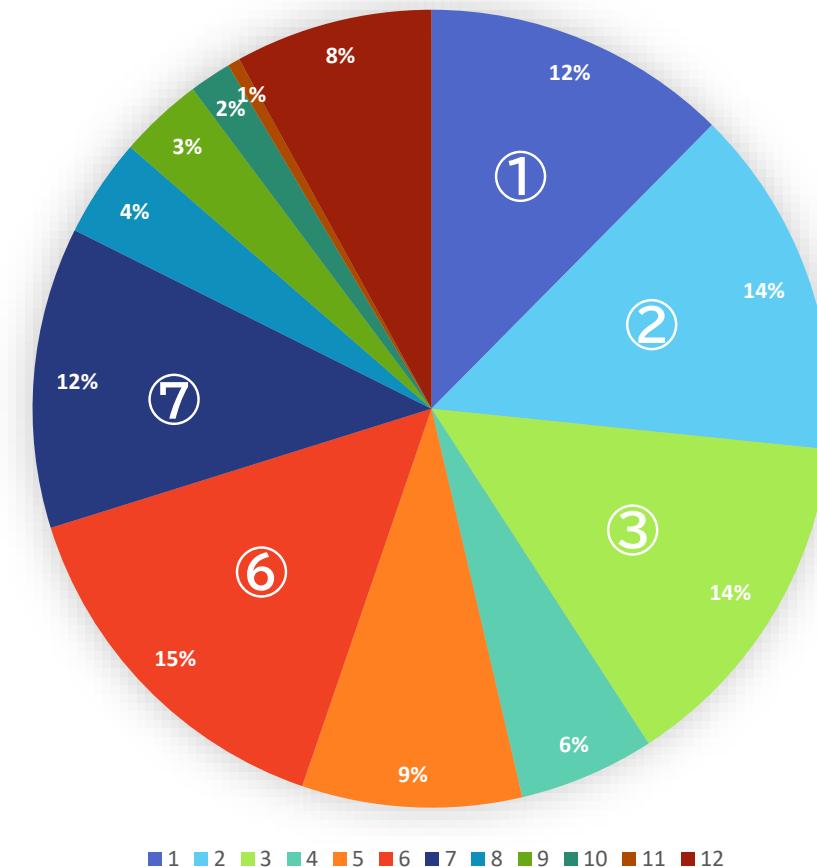
仲間との関係構築や活動で得られる体験を学びの場と捉えている、また試合等への参加で達成感を得られることが主な理由

- ①仲間ができるから
- ②興味(きょうみ)のある活動ができるから
- ③心や体をきたえたり、新たな考えを生み出す力や自分の思いを伝え
る力を身につけたりしたいから
- ④仲間と協力したり、きまりやルールを守る力が身につくから
- ⑤試合に勝ったり賞を取ったりできるから
- ⑥努力することの大切さが学べるから
- ⑦専門性の高い知識や技術を身につけることができるから
- ⑧ひまをもて余(あま)さないですから
- ⑨進学に有利になるから
- ⑩安く活動できるから
- ⑪親や親せきに勧(すす)められたから



仲間との関係構築や活動で得られる体験を学びの場と捉えている、また試合等への参加で達成感を得られることが主な理由

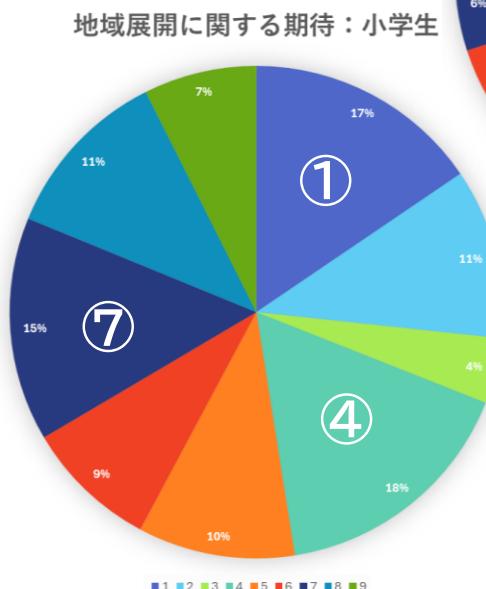
- ①仲間ができるから
- ②興味のある活動ができるから
- ③体力や精神力、創造力や表現力が身につくから
- ④社会性、協調性、規律性が身につくから
- ⑤試合に勝ったり賞を取ったりできるから
- ⑥達成感(成功体験)が得られること
- ⑦努力することの大切さを学べるから
- ⑧専門性の高い知識や技術が習得できるから
- ⑨ひまを持て余さないですむから
- ⑩進学に有利になるから
- ⑪安価で活動できるから
- ⑫心身の健康・体づくりのため



休日と平日、活動の連続性と専門性の高い指導が受けられることへの期待が高い
また、活動は設備の整った環境で取り組みえることと、自分のレベルにあった活動を選べることが期待されている

- ①休日も学校部活動と同じ活動ができること
- ②現在の学校部活動にない種目・分野等の活動もできるようになること
- ③複数の種目等の活動を並行(へいこう)してできること
- ④同じ種目や活動であっても、自分のレベルに合った活動を選べること
(大会・コンクールで上位を目指す、活動を楽しむなど)
- ⑤自分の学校以外の生徒、または他の年代の人と活動ができること
- ⑥専門性の高い指導が受けられること
- ⑦小中と続けて活動ができること
- ⑧設備の整った環境で活動できること
- ⑨複数の種目等で大会・コンクールに出場できるようになること
- ⑩部活動顧問の負担が減り、学務に専念できること
- ⑪保護者も地域指導者として関われる可能性があること
- ⑫その他

※色付きは保護者のみの設問

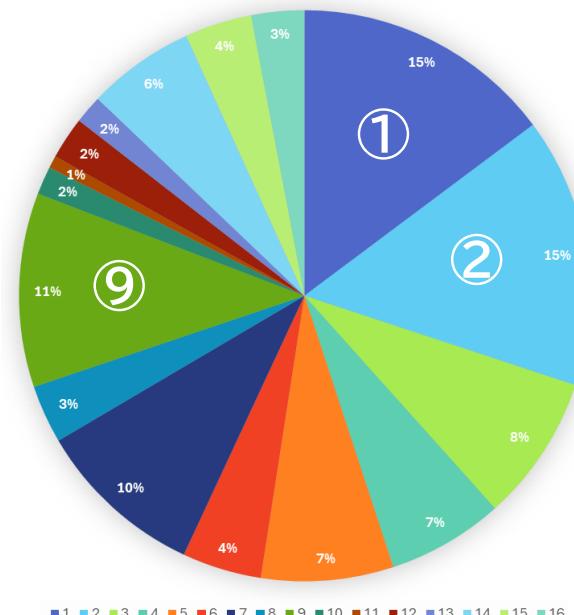


希望する活動への参加が可能か、会費等の費用負担、活動場所までの移動手段についての不安が顕在化している
また、活動については学校生活に配慮された活動計画や時間配分が行われるかについて不安が顕在化している

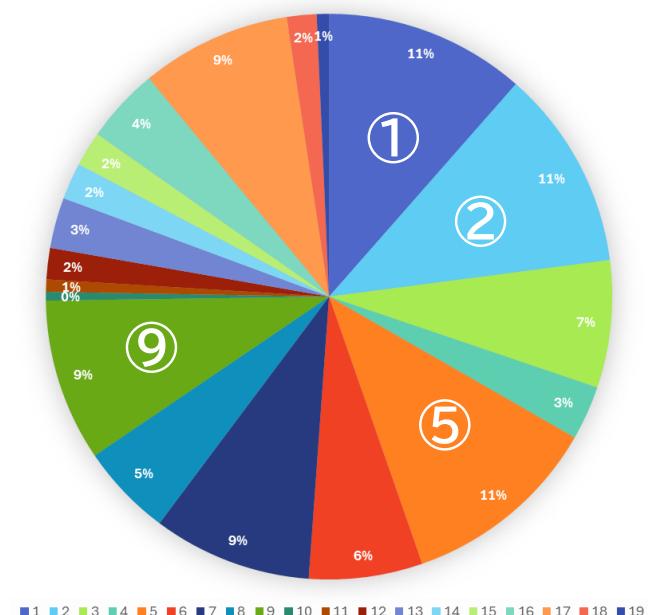
- ①希望する活動ができるか
- ②会費や道具代などの費用負担が増えないか
- ③平日の活動と休日の活動の内容の一貫性がなくならないか
- ④平日の部活動の仲間で大会等に参加が出来なくなってしまうのではないか
- ⑤活動場所までの移動時間がかかること。移動手段があるか
- ⑥教育的観点に立った指導をしてもらえるか
- ⑦人間関係のトラブルへの対応
- ⑧事故防止のための安全管理体制
- ⑨学校生活に配慮した活動時間
(練習時間が長い、夜間の活動、テスト期間への配慮など)
- ⑩複数種目の活動をしても参加できる大会が少ないのでないか
- ⑪複数種目の活動をしている場合に、専念していないと団体競技や団体で出場するコンクール等では大会出場させてもらえないのではないか
- ⑫進学や推薦・内申等に影響がでないか
- ⑬個人の特性や障がい等に配慮した指導が行われるか
- ⑭地域クラブに入らないと仲間外れになってしまわないか
- ⑮地域クラブに有力者が集まり選抜となって、全国大会の出場枠が取られてしまわないか
- ⑯学校職員の目が届かなくなるのではないか
- ⑰練習や試合、大会での補助、当番の負担、大会運営・審判ボランティア等を強いられないか
- ⑱教員の負担が変わらないのではないか
- ⑲その他

*色付きは保護者のみの設問

地域展開に関する不安：中学生

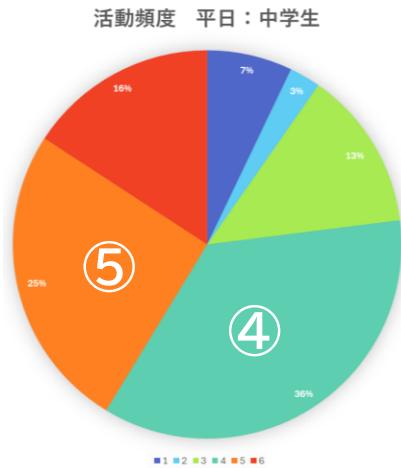


地域展開に関する不安：保護者

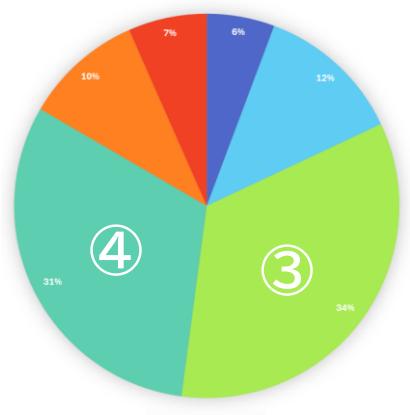


活動頻度としては、平日3日～4日、休日1日もしくは活動無しとする要望が多い傾向にある

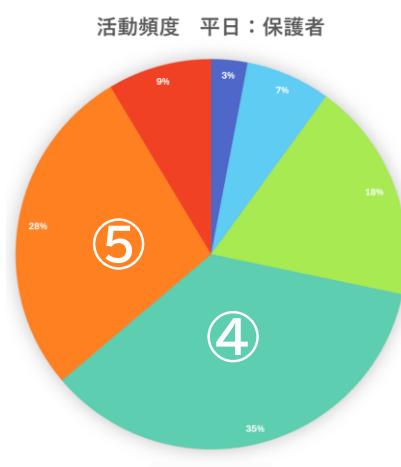
- 平日の活動頻度
- ①やらなくてよい
 - ②1日
 - ③2日
 - ④3日
 - ⑤4日
 - ⑥5日



活動頻度 平日：小学生

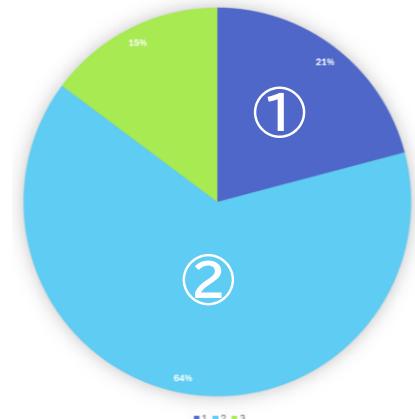


活動頻度 平日：保護者

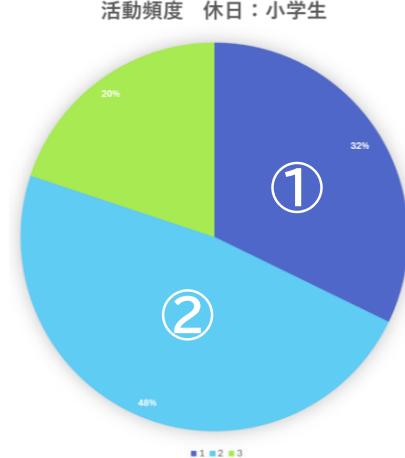


- 休日の活動頻度
- ①やらなくてよい
 - ②1日
 - ③2日

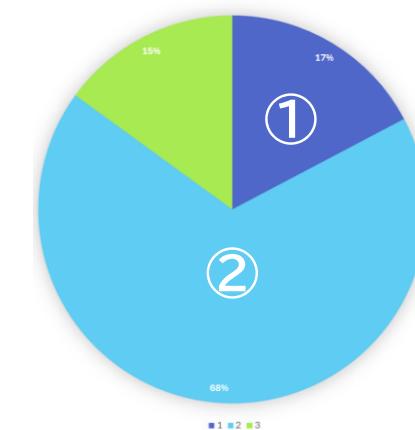
活動頻度 休日：中学生



活動頻度 休日：小学生



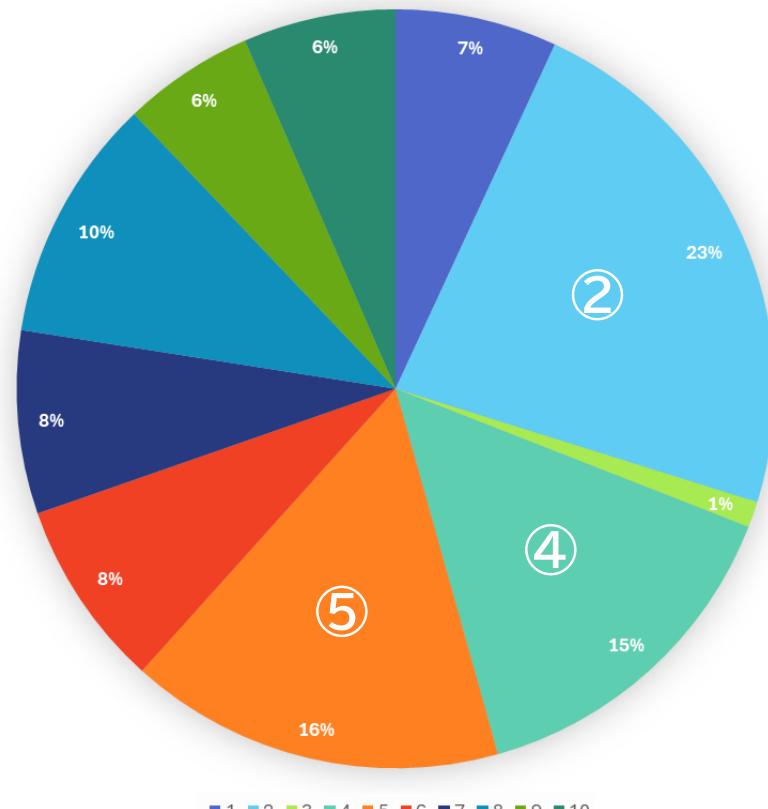
活動頻度 休日：保護者



保護者の立場から、練習や大会等の送迎、当番等の補助対応、活動に関わる費用が負担とされている

- ①弁当の用意
- ②練習や試合、大会等の送迎
- ③ユニフォーム等の洗濯
- ④練習や試合・大会等での補助、当番
- ⑤活動に係る費用(道具、会費等)
- ⑥保護者同士の付き合い
- ⑦家族で過ごす時間が少ない
- ⑧子どもの勉強時間が確保できない
- ⑨指導者と方針が合わない
- ⑩その他

部活動における保護者の負担

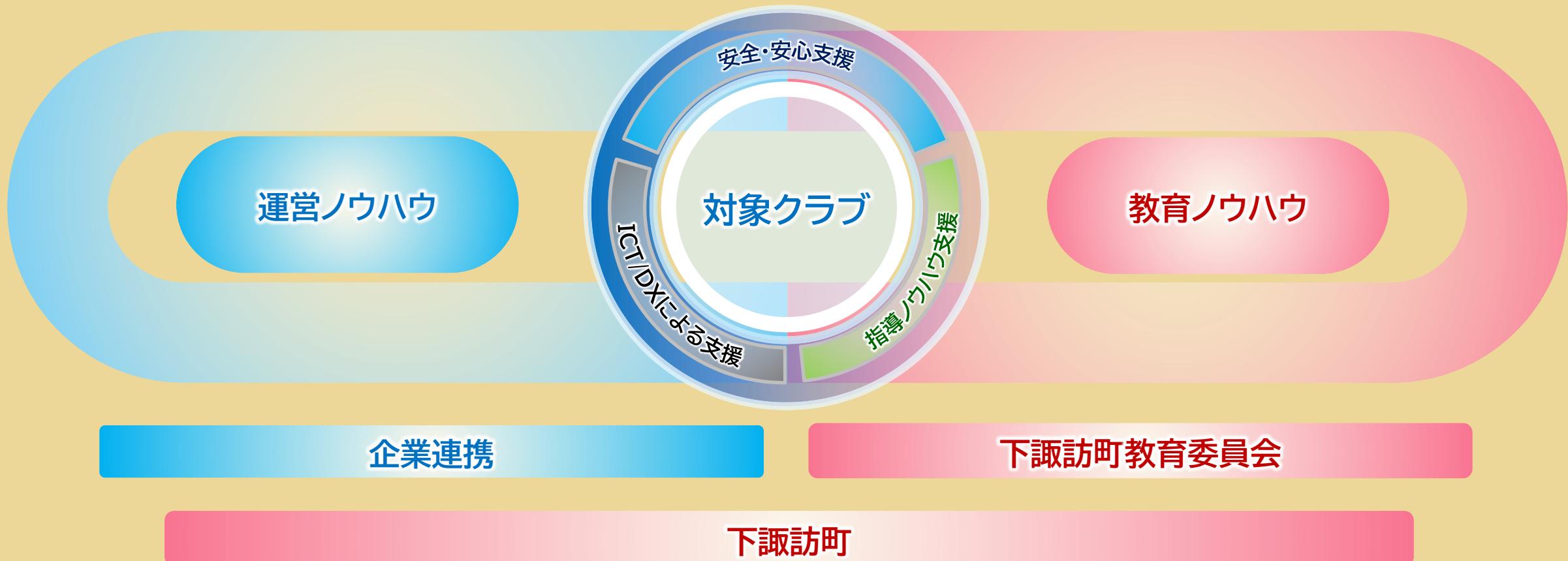


- 部活動への参加に対する主な動機としては、仲間との関係構築や活動を通じて得られる体験を学びの一環として捉えている点、ならびに試合等への参加による達成感の獲得が挙げられる
- 活動に対しては、平日・休日を通じた継続的な取り組みや、専門性の高い指導を受けられることへの期待が高く、設備の整った環境で、自身のレベルに応じた活動を選択できる点も重視されている
- 一方で、希望する活動への参加が可能か否か、会費等の費用負担、活動場所までの移動手段に関する懸念が顕在化しており、学校生活との両立を考慮した活動計画や時間配分が適切に行われるかについても不安が示されている
- 活動頻度に関しては、平日3~4日、休日は1日または活動なしとする希望が多く見受けられる
- 保護者の視点からは、練習や大会等への送迎、当番等の補助対応、ならびに活動に伴う費用負担が課題として認識されている

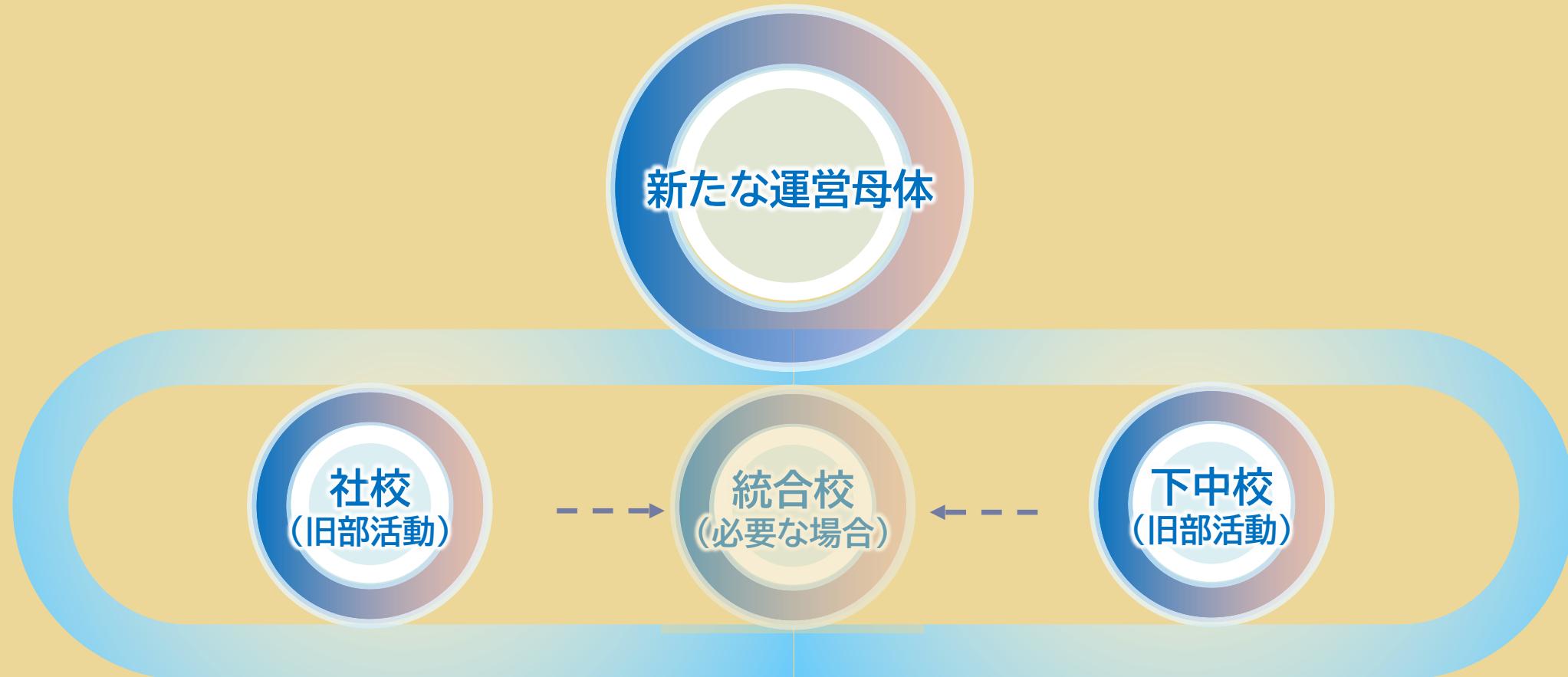
活動の持続性、質、負担低減と
生徒、保護者のみなさまの意向を踏まえた地域展開が必要となる

下諏訪モデルの確立

自治体と企業の連携によって地域に寄り添った運営を支援



従来の部活動や地域活動をつなぎ、競技単位で核となる運営母体を構築
生徒を起点とし、地域事情にあわせたクラス編成や運営改善を可能とする持続可能な環境を創出



- Phase1のモデルケースとして、下記3活動を選定しプロトタイプの検証に着手する
- 運動部、文化部の双方を選定し、先生方と地域社会活動との連携を視野に入れた検証を行う

陸上部

- 下中のみ平日週4日で活動、社会体育の陸上部と連携している
- 専門性を持ち合わせた顧問の先生と、社会体育組織が連携して指導できる環境にある
- 移動の問題は発生するが、町の陸上競技場確保が可能で、社中の生徒にも新たな環境が提供できる

ボート部

- 下中のみ平日は週4日程度朝夕と、休日週1日と活動頻度が高く、現場指導は長野県ローイング協会が中心となって指導を実施
- 町の施設が整備されていて、既に地域クラブ的な活動が行われている
- 指導者の専門性が高く、持続可能な指導環境が整っているため、現状の休日活動を維持しながら地域展開が可能

美術部

- 基本は平日のみ週4日の活動が下中、社中で実施されており、場所や時間を変更せずに地域展開が可能な状態
- 参加生徒のモチベーションも様々で、心理的にも入部しやすく、放課後の生徒にとって心地よい環境や活動が提供できる
- 専門性のある顧問の先生が継続して指導頂ける環境にあり、将来的な環境構築を見据えて町内の美術会との連携が可能

■ 地域展開の目途が立っている活動

男子バスケットボール

- 下諏訪クラブU15(スポ協バスケ部)に展開予定(令和8年)
- 課題:外部指導者の持続的な確保と中体連後の指導状況が不透明な状態
生徒のモチベーションに差があること、地域展開に際してはしっかりと状況を理解を得た上で推進する必要がある

女子バスケットボール

- 下諏訪クラブU15(スポ協バスケ部)へ展開済
- 課題:特段大きな課題はなく、生徒同士のコミュニケーションも上手く回っている

サッカーチーム

- スポ協サッカーチームへ展開予定(令和8年)
- 課題:指導者の確保もされており、持続可能な運営が可能無い状態
一方で、参加生徒数が少なく、部員数の減少を考慮すると広域連携を視野に入れた運営体制の構築が必要

野球部

- 第三野球部へ展開済(水、土、日)、ただし学校活動も存続
- 課題:中体連へ出場するために学校部活動を残す必要がある
部員数が減少しており、広域連携を視野に入れた対応が必要な状況

■ 地域展開の目途が立っていない活動

男子/女子バレーボール

- スポ協バレーボール部への展開を協議中
- 課題: 中体連後の部員数が男女ともに少なく、広域連携や合同チーム等の検討が必要な状況
指導者が先生に依存しているため、持続的に指導が可能な体制の構築が必要

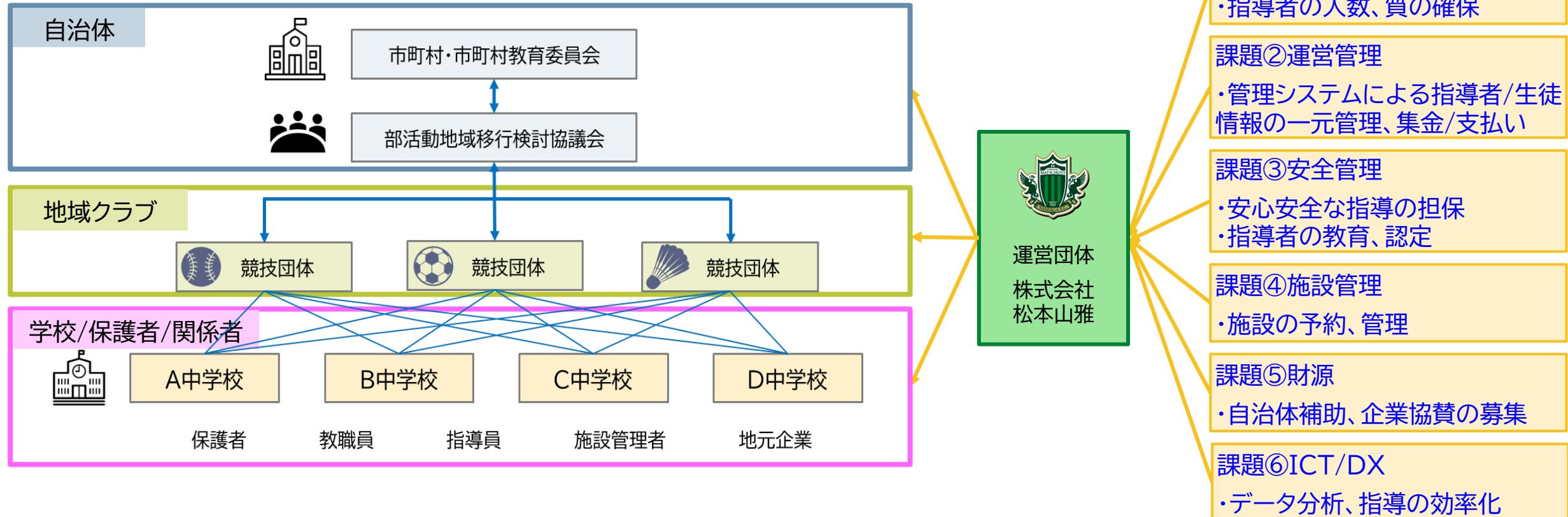
男子/女子ソフトテニス

- 指導者は存在するが、運営母体が存在しない(スポ協ソフトテニス部への展開不可)
- 課題: 希望生徒は20名程度、指導者も確保可能であるが、運営母体の存在がなく持続的な体制の構築が必要
雨天時やシーズンオフの屋内利用等、施設確保が限定的となっている点も課題が存在

吹奏楽部

- 運営母体が存在せず、教諭以外の指導者も不在
- 課題: 運営母体の新設と指導者の確保が必要、並行して大型楽器の運搬・保管や継続的に活動可能な状態を創出する必要がある
楽器の所有課題が未解決な状況

- 学校及び教職員、地域活動母体、それぞれの意向に配慮した地域に根差した活動を支援します
- スポーツクラブ運営のノウハウを活かし、運営団体として自治体/各種団体/生徒と連携し対応いたします
- 各課題に対して一元化可能なプラットフォームを構築し、運営に係る項目を共通化することで負担を軽減し、スムーズな部活動の地域展開を支援いたします



- 地域に関連するステークホルダーとの連携基盤を構築し、自治体ニーズにあった柔軟な対応を実現していきます
- 自治体単位の構築資産を活用し、共通運営基盤上で地域間連携を視野に入れた効率の良い運用を可能とします



- スポーツクラブ運営の中で、すでに構築している要素を基軸に関連企業との連携で運営体制を構築しています
 - 松本山雅のスクールノウハウを活かし、地域指導者と連携して他スポーツや文科系活動への支援を行います



- コーディネーターの役割を担い地域展開協議会への参画、対象クラブの活動及び運営に必要な支援を行います

① 地域展開に関する運営支援



■ 地域展開の協議会運営支援

- 地域展開協議会への参画
- クラブ編成支援
- 活動実績の報告
- 予算編成、予算管理

■ Web(ポータルサイト)の構築・保守運用支援

- 生徒募集Webの構築・保守運用
- クラブ登録Webの構築・保守運用

⇒松本山雅スポーツクラブのポータル
サイトの構築と運用ノウハウの転用

⇒プライバシーポリシーによる個人情報
管理・保護支援

The screenshot shows the official website of Matsumoto Yamaga F.C. (松本山雅FC). The top navigation bar includes links for 'Home', 'Match Information', 'Soccer School', 'Sports Club', 'Various Applications', and 'Contact'. The main content area features a green banner titled 'Various Applications' with two tabs: 'Soccer School' and 'Sports Club'. Below this is a section titled 'Soccer School Application Form' with various dropdown menus for age groups (KIDS (年少), KIDS (年長), S-7, S-8, S-9, S-10, S-11, S-12) and club categories (学生クラス, ヤマガルズ, GKスクール). At the bottom, there is a 'Contact Us' section with a phone number (0263-88-5523) and operating hours (平日10:00~15:00まで).

※Web(ポータルサイト)イメージ

① 人材・指導者



■ 展開対象クラブの運営支援

- 活動スケジュール調整
- 出欠確認
- 指導計画作成
- 指導記録作成、報告
- 指導者間の情報共有

■ 現場保全

- 緊急時対応(ケガ・体調不良)
- 用具の保守・管理

⇒約1,000名のスクール事業で
蓄積されたノウハウを提供



現時点での検討内容になります、引き続きご要望をお聞きしながら柔軟に対応致します

■ 指導者管理、安全などの指導者教育、活動施設の管理など、活動の運営に必要な支援を行います

② 安全・教育



■ 指導者研修 (対面 or e-ラーニング)

- 指導技術研修
- 安全管理研修
- コンプライアンス研修
- ハラスメント研修

■ 指導者認証 ➤ 独自認証制度(検討中)

⇒Jリーグ等で実績のあるカリキュラムと
自社e-ラーニングシステムを準備中
2024年度は松本市にて対面講習会を実施

⇒プライバシーポリシーによる個人情報
管理・保護支援

The screenshot shows a quiz interface with a sidebar menu containing options like EL001, バッジ, コンピテンシ, 評定, e-learning, Home, ダッシュボード, カレンダー, プライベートファイル, and マイコース. The main content area displays a question about email usage.

※Web(ポータルサイト)イメージ



③ 施設管理

■ 施設の運用管理

- 予約管理・調整
- 施錠管理

■ 施設の維持管理

- 備品管理
- 設備点検
- 設備保全(別費用)

TOYBOX

The screenshot shows the homepage of the Toybox system. It features a top banner for '塩尻市公共施設予約システム' (Saltashiro City Public Facility Reservation System). Below the banner, there's a 'お知らせ' (Announcement) section with a message about no announcements. A '空き照会・予約の申込' (Availability Inquiry/Reservation Application) section is also visible.

※Web(ポータルサイト)イメージ

⇒株式会社TOYBOXと連携し塩尻市の
小坂田公園にて指定管理を受託中

- 生徒向け/指導者向けの管理、データを活用した運動上達支援により円滑な管理運営と生徒の成長を支援します
⇒ 独自に開発した管理・運動支援アプリを提供することにより、生徒・保護者・指導者との連携を効率化
- ⇒ 個人情報については、すでに構築されているISMS※に準拠した強固なセキュリティ環境の中で安全に保護されます

④ ICT/DX活用



※ISMS:Information Security Management System(情報セキュリティマネジメントシステム)の略
組織の情報セキュリティを管理するための包括的な枠組み

管理アプリ

生徒・保護者向け

- 生徒情報の一元管理
- 活動予定共有
- 出欠連絡
- 月謝の請求・支払い
- 試合結果共有



指導者向け

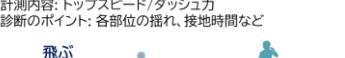
- 指導者情報管理
- 活動・指導履歴管理
- 指導者間の情報共有
- スケジュール調整・共有
- 経費申請・謝金支払い



セキュリティ管理された
データベースの提供

運動上達支援サービス

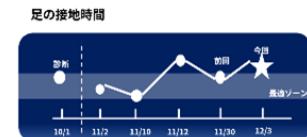
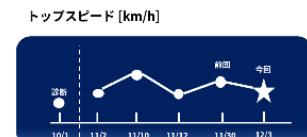
- 運動計測・データ取得
(スプリント/ジャンプ/サイドステップ)



- レポート閲覧機能



- 成長ログ機能



参考 | 部活動地域展開ICT/DX環境全体構成



下諏訪市Webサイト



①部活動登録Webサイト
自治体単位で新規構築



②指導者教育Webサイト
全自治体共通



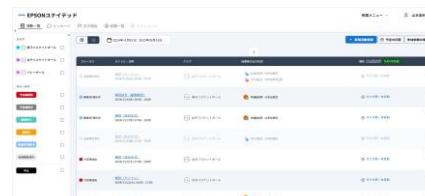
③施設管理Webサイト
※自治体単位の既存展開



運営母体管理

運営母体管理

④-1クラブ管理アプリケーション
全自治体共通



※自治体管理

共通ID管理

④-2 運動支援アプリケーション
全自治体共通



各クラブ管理

各クラブ管理

- 松本山雅がクラブパートナーと構築したSurveyツールを活用して、アンケートによる定点観測環境を提供
- 部活動実施内容や運営のあり方等、参画するステークホルダーみなさまの声を分析して改善や改革を支援

④ ICT/DX活用



アンケートアプリ

生徒・保護者向け

- 部活動参加への感想
- 要望や関連するリクエスト
- 自由記述アンケートによる生の声を収集

指導者向け

- クラブ運営に関する感想
- クラブ運営に対する要望や関連するリクエスト
- 自由記述アンケートによる生の声を収集

自治体向け

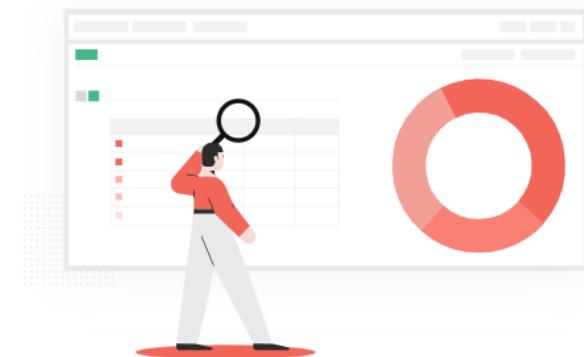
- 運営全体の状況分析結果の提供
- 部活・クラブ運営に対する要望や関連するリクエスト
- 自由記述アンケートによる生の声を収集

アンケートに柔軟性の高いカスタマイズ機能と高度なセキュリティーを提供

金融機関の顧客にも認定された高度な情報セキュリティで、フォームデータの機密性を確保します。また、ニーズに応じてAPIアクセス設定などもカスタマイズすることが可能で、フォームの利用機会がさらに広がります。

パワフルな分析ツールで回答データにさらなる価値を

高度なフォーム作成と統計機能で効率的にデータ分析を可能にします。より最適化された回答環境で回答制度の向上、データにさらなる価値を作り出します。



- 松本山雅FCのクラブ運営で連携いただいているパートナー様のご支援を地域貢献活動として展開
- 地域へ根付いている企業活動から、地域展開支援に必要なアイデア検討を共におこない活動に参画をいただく

その他 | 地域見守り支援

明治安田

■ 地域活動の見守り支援

地域MYリンクコーディネーターの派遣

- 部活動活動中の安全支援
- 運営に対する困りごとへの支援
- 保護者を中心とした地域の相談窓口的な活動支援

ひとに健康を、まちに元気を。

明治安田生命から、明治安田へ。



「お客様の健康増進」や「地域のつながり」のサポート等の
「生命保険会社の役割を超えた価値」を提供します

その他 | リスク管理支援

SOMPO

■ リスク管理と地域支援

- リスクを取り巻く各種補償の継続的なご相談
- 運営形態に合わせた補償の見直し支援
- 防災・減災活動/こども仕事体験の提供
- 文化系活動支援(芸術鑑賞、森の里親体験等)



- 生徒・指導者のケガや賠償責任への備え
- 運営団体・企業への賠償責任の備え

Phase0 | 全体構想の立案

協議会等への参画から地域の部活環境を把握し、連携企業と環境構築の検討を伴走。

Phase1 | プロトタイプによる検証

地域に適した展開プロトタイプの設計と、テスト運用による展開検証を実施。

Phase2 | 全体展開への取り組み

テスト運用から得られる知見の分析と、全体展開計画の策定と実際の展開を推進。

- Phase1のモデルケースとして、下記3活動を選定しプロトタイプの検証に着手する
- 運動部、文化部の双方を選定し、先生方と地域社会活動との連携を視野に入れた検証を行う

陸上部

- 下中のみ平日週4日で活動、社会体育の陸上部と連携している
- 専門性を持ち合わせた顧問の先生と、社会体育組織が連携して指導できる環境にある
- 移動の問題は発生するが、町の陸上競技場確保が可能で、社中の生徒にも新たな環境が提供できる

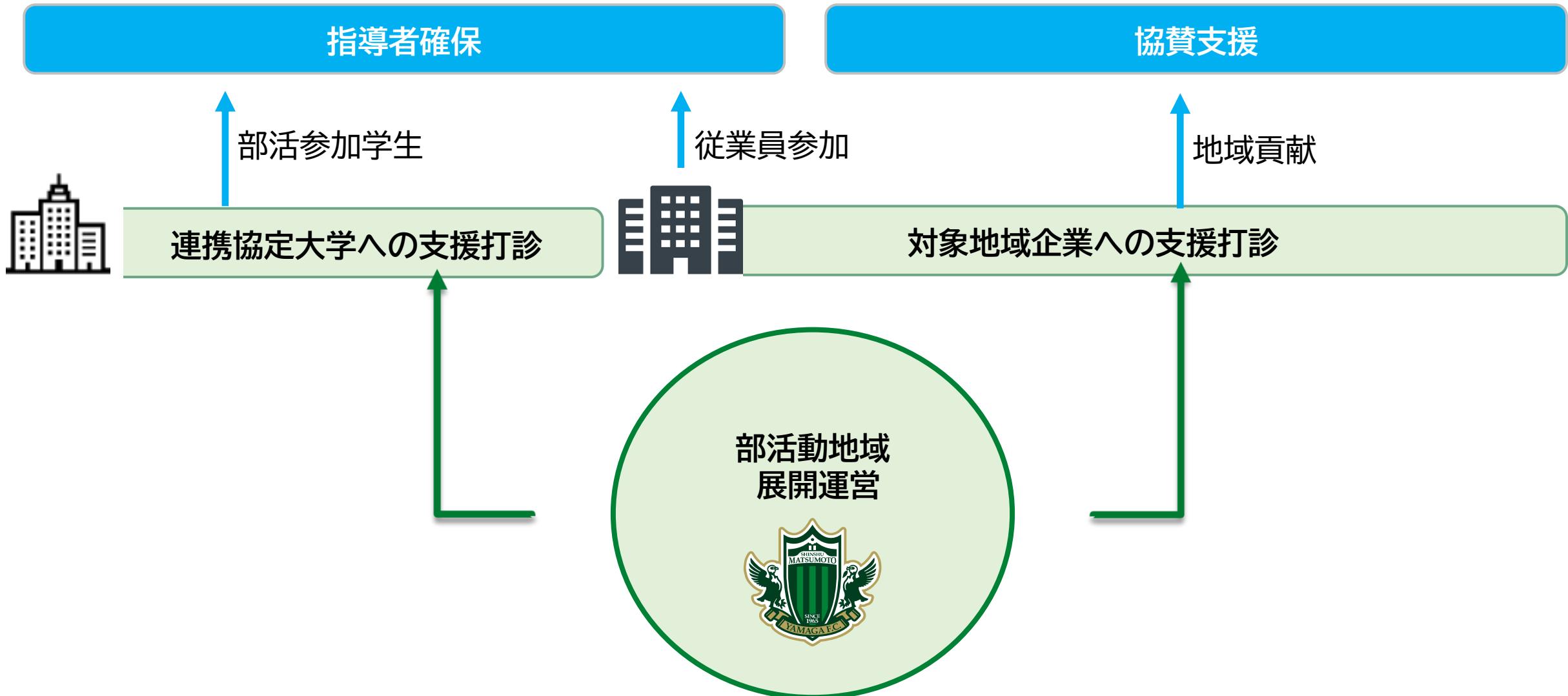
ボート部

- 下中のみ平日は週4日程度朝夕と、休日週1日と活動頻度が高く、現場指導は長野県ローイング協会が中心となって指導を実施
- 町の施設が整備されていて、既に地域クラブ的な活動が行われている
- 指導者の専門性が高く、持続可能な指導環境が整っているため、現状の休日活動を維持しながら地域展開が可能

美術部

- 基本は平日のみ週4日の活動が下中、社中で実施されており、場所や時間を変更せずに地域展開が可能な状態
- 参加生徒のモチベーションも様々で、心理的にも入部しやすく、放課後の生徒にとって心地よい環境や活動が提供できる
- 専門性のある顧問の先生が継続して指導頂ける環境にあり、将来的な環境構築を見据えて町内の美術会との連携が可能

- 松本山雅FC運営母体が保有する顧客(市場)接点を活用した指導者確保や協賛参加への支援



■ 松本山雅FC運営母体が保有する、直接的・間接的な多くの顧客(市場)接点を提供



スタジアム来場者数
累計 約**16**万人
平均 約**8,500**人
(2024.10月現在)



アカデミー会員数
約**1,000**名
(2024.10月現在)



ファンクラブ会員数
約**8,000**名
(2024.10月現在)



地域貢献活動 年間実施回数
523回
(2024.11月)



SNSフォロワー数
X 約**9,8**万人
全SNS 約**23**万人
(2024.10月現在)



公式ウェブサイト月間PV数
約**170**万人
(2024.10月現在)



長野県
ホームタウン市町村数
11市町村
(2024.10月現在)



協賛企業総数
938社
(2024.9月現在)



ブランド
イメージの
向上



商品及び
サービスの
販売促進



CSR
社会貢献
活動



福利厚生
社内の
モチベーション
アップ



リクルート
対策



お得先への
ホスピタリティ
の向上

EPSON



CRESTEC
Global Communications

TOYBOX

会社名	:セイコーホームズ株式会社
設立	:1942年5月18日
本社所在地	:長野県諏訪市大和三丁目3番5号
代表取締役社長	:吉田 潤吉
資本金	:532億400万円
従業員数	:連結74,464名／単体13,083名(2024年3月31日現在)
売上	:連結13,139億円(2024年3月期)
グループ各社	:82社(当社を含む)国内20社、海外62社(2024年3月31日現在)

会社名	:株式会社クレストック
設立	:1984年9月
本社所在地	:静岡県浜松市中央区東三方町69
代表取締役社長	:栗沢 威臣
資本金	:2億1540万円
従業員数	:1,383名(連結 2024年6月現在)
売上	:連結190億円(2024年6月期)
拠点数	:国内9拠点、海外10か国 18拠点

会社名	:株式会社TOYBOX
設立	:2024年4月
本社所在地	:長野県松本市大字島立635番地1北館
代表取締役社長	:大池 太士
資本金	:4,000万円
従業員数	:123名(2025年4月現在)
売上	:7億2,000万円(2025年3月期見込)
実績	:鉢盛中学校部活動地域展開サポート業務受託中(2025年4月より)



会社名	:明治安田生命保険相互会社
設立	:1881年7月9日
松本支社所在地	:長野県松本市大手3-4-5明治安田生命松本大手ビル1階
代表取締役社長	:永島 英器
基金総額	:9,800億円(2024年9月末現在)
従業員数	:47,493人(2024年9月末現在)
保険料等収入	:1兆4,747億円(2024年4月～2024年9月)
グループ各社	:支社等105、営業所等1,033、法人部19(2024年10月1日現在)

会社名	:損害保険ジャパン株式会社
設立	:1888年(明治21年)10月
松本支社所在地	:長野県松本市本庄1丁目13-5 損保ジャパン日本興亜松本ビル 7F
代表取締役社長	:石川 耕治
資本金	:850億円
従業員数	:20,731名
保険料等収入	:2兆2,299億円(2024年)
拠点数	:支店等128、営業所等472、サービス拠点等258

会社名	:プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社
設立	:2016年2月3日
松本支社所在地	:東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウェスト7F
代表取締役社長	:平地大樹
資本金	:1億5,220万円
従業員数	:
売上	:
拠点数	:

下諏訪町デジタル地域クラブについて

下諏訪町IT系地域クラブ活動推進協議会

▶ デジタルって？

- ▶ スマホやゲーム、動画などに使われている
- ▶ 「デジタル」の しくみを楽しく学べるクラブだよ！

▶ 0と1の世界

- ▶ コンピューターは「0」と「1」で 情報をあらわしているんだ
- ▶ ちょっと不思議でおもしろい！

▶自分を表現しよう

- ▶ 絵を描いたり、音楽を作ったりして、
- ▶ 自分のアイデアを形にできるよ。

▶動画や画像を編集

- ▶ YouTuberみたいに動画を作ったり、
- ▶ 写真をかっこよく加工してみよう！

- ▶ プログラミングに挑戦
 - ▶ ゲームやアプリのしくみを学んで、自分だけのミニゲームを作ってみよう！
- ▶ ドローンを飛ばそう
 - ▶ プログラムでドローンを動かして、空を飛ぶしくみを学習できるよ。
- ▶ みんなで協力して作品づくり
 - ▶ 友だちとチームになって、ひとつの作品を作る楽しさを味わおう！
- ▶ eスポーツ大会にチャレンジ
 - ▶ 人気のゲームで大会に出場！ 集中力とチームワークが大事だよ。

▶情報を見分ける力

- ▶ インターネットの情報が正しいかどうかを考える力がつくよ。

▶考えを伝える力

- ▶ 動画や作品で、自分の気持ちや考えを伝えられるようになるよ。

▶協力する力

- ▶ 友だちと協力して、ひとつのものを作り上げる力が育つよ。

▶チャレンジする力

- ▶ 新しいことに挑戦して、ずっと学び続ける力が身につくよ。

こんな人におすすめ！

▶デジタルが好きな人

- ▶ パソコンやタブレットを さわるのが好きな人にぴったり！

▶作ってみたい人

- ▶ ゲームや動画を作つてみたい人、アイデアを形にしたい人におすすめ！

▶表現が好きな人

- ▶ 絵や音楽など、自分を表現するのが好きな人に向いてるよ。

▶協力が楽しいと思う人

- ▶ 友だちと協力して何かを作るのが楽しいと思う人にぴったり！

▶大会に出てみたい人

- ▶ チームで大会にチャレンジしてみたい人、ぜひ参加してね！

▶ 現代の基礎力としてのデジタル

- ▶ スマートフォンやAI、IoTなどの技術は、今や生活の一部です。
- ▶ これらを使いこなす力は、すべての子どもに必要な「現代の基礎力」となっています。

▶ 子どもたちの未来に必要な力

- ▶ デジタルスキルは、単なる機械操作ではなく、情報を正しく扱い、他者と協力しながら 課題を解決するための思考力・判断力・表現力を含む総合的な力です。

▶ 社会の変化に対応するために

- ▶ 将来どんな職業に就くとしても、デジタル技術は避けて通れません。
- ▶ また、情報の見極めやSNSでの適切な振る舞いなど、情報社会を安全に生きる力も不可欠です。

▶ 今こそ、地域で支える教育を

- ▶ 学校教育だけでは補いきれない部分を、地域の力で支えることが求められています。
- ▶ 子どもたちが安心して学べる環境を整えることが、私たち大人の大切な役割です。

▶ 職業に直結するスキル

- ▶ 多くの仕事でデジタル技術が必要とされ、スキルの有無が将来の選択肢に影響します。

▶ 情報社会を安全に生きる力

- ▶ 信頼できる情報を見極め、SNSなどで適切に振る舞う力が、子どもたちの安全や人間関係の形成に関わります。

▶ 創造と表現の手段

- ▶ プログラミングや動画編集などを通じて、子どもたちの創造性と自己肯定感を育みます。

▶ 協働とコミュニケーション力

- ▶ 仲間との協力や対話を通じて、社会性やコミュニケーション力が身につきます。

▶ 基本操作スキル

- ▶ パソコンやタブレットの操作、タイピング、クラウド活用など、すべての活動の土台となる力です。

▶ 情報リテラシーとモラル

- ▶ 情報の信頼性判断、SNSでのマナー、個人情報保護など、情報を使う力と守る力を育てます。

▶ 創造的な表現力

- ▶ プログラミングや動画編集などを通じて、自分の考えを形にする力を育てます。

▶ 協働・コミュニケーション力

- ▶ 共同制作やeスポーツなどで、仲間との協力や多様性の理解を深めます。

▶ 学び続ける力

- ▶ オンライン教材やAIツールを活用し、自律的に学ぶ姿勢を育てます。

▶専門人材による指導

- ▶ 地域のIT人材や大学生との連携で、実践的な学びが可能になります。

▶学校外の学びの場

- ▶ 興味に応じて主体的に参加できる環境が整い、個性や才能を伸ばす機会になります。

▶多世代・多様な交流

- ▶ 地域の大人や他校の児童との交流を通じて、柔軟な思考力が育まれます。

▶持続可能な教育体制

- ▶ 教職員の負担軽減と地域資源の活用により、継続的な活動が可能になります。

未来を生き抜く力を育てるために

子どもたちがこれから社会を生き抜くためには、デジタルを正しく使いこなし、創造し、協力しながら学び続ける力が必要です。これは、学校だけでは育てきれない力もあります。

地域で育てる新しい学びの場

デジタル地域クラブは、子どもたちが安心して挑戦できる場であり、仲間とともに成長できる場です。地域の大人たちが関わることで、子どもたちは多様な価値観に触れ、視野を広げていきます。

保護者の皆様へお願い

このクラブは、子どもたちの「やってみたい！」を応援する場所です。少しでも興味を持っている様子があれば、ぜひ背中を押してあげてください。参加することで、きっと新しい可能性が広がります。

一緒に未来を育てましょう

デジタル地域クラブは、子どもたちの未来への第一歩です。地域全体で支え合いながら、子どもたちの成長を見守り、育てていきましょう。